# 世界知的所有権機関 国際事務局 特許協力条約に基づいて公開された国際出願



(51) 国際特許分類6 C07D 235/28, A61K 31/415

A1

(11) 国際公開番号

WO00/03997

(43) 国際公開日

2000年1月27日(27.01.00)

(21) 国際出願番号

PCT/JP99/03799

(22) 国際出願日

1999年7月14日(14.07.99)

(30) 優先権データ

特願平10/200250

1998年7月15日(15.07.98)

(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 帝人株式会社(TEIJIN LIMITED)[JP/JP]

〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町1丁目6番7号 Osaka, (JP)

(72) 発明者;および

(75) 発明者/出願人(米国についてのみ)

松本由之(MATSUMOTO, Yoshiyuki)[JP/JP]

竹内 進(TAKEUCHI, Susumu)[JP/JP]

長谷直樹(HASE, Naoki)[JP/JP]

〒191-0065 東京都日野市旭が丘4丁目3番2号

帝人株式会社 東京研究センター内 Tokyo, (JP)

(74) 代理人

前田純博(MAEDA, Sumihiro)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目1番1号 帝人株式会社 知的財産センター内 Tokyo, (JP)

(81) 指定国 AE, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CU, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), ARIPO特 許 (GH, GM, KE, LS, MW, SD, SL, SZ, UG, ZW), ユーラシア特

添付公開書類

国際調査報告書

許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM)

(54) Title: THIOBENZIMIDAZOLE DERIVATIVES

(54)発明の名称 チオベンズイミダゾール誘導体

Thiobenzimidazole derivatives represented by general formula (1) or pharmaceutically acceptable salts thereof which have a potent human chymase inhibitory activity and, therefore, are usable as clinically applicable preventives and/or remedies for various diseases in which human chymase participates.

$$R^{1} \xrightarrow{X} N \xrightarrow{S} G^{A}$$

$$R^{2} \xrightarrow{X} X \xrightarrow{N} G^{(0)_{m}}$$

(1)

で表わされるチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容 される塩であって、該チオベンズイミダゾール誘導体およびその医 学上許容される塩は強いヒトキマーゼ阻害活性を示す。したがって、 ヒトキマーゼが関与する各種疾患の臨床応用可能な予防剤および/ または治療剤となり得る。

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報)

アラブ首長国連邦 アルバニア アルメニア オーストリア オーストラリア オーストラリジャ アゼルバインへルツェゴビナ バルバドス AAAAAABBBBBBBBBCCCCCCCCCCCCDD KULLULLU MMMMM EFFFGGGGGGGGGHH-----JKKK 英国 グレナダ グルシア スワン/ チャード トーゴー タジキスタン タンザニア トルクプ MMRWXELOZLTO NNNNPPR アガンタ 米国 ボベキスタン ヴィーゴースラビア 中アフリカ共和国 ジンパブエ Patent provided by Sughrue Mion, PLLC - http://www.sughrue.com

1

### 明細書

チオベンズイミダゾール誘導体

#### 5 技術分野

本発明は、式(1)で示されるチオベンズイミダゾール誘導体に 関するものであり、更に詳しくは、ヒトキマーゼ活性阻害剤として 有用なチオベンズイミダゾール誘導体に関するものである。

## 10 背景技術

キマーゼ (chymase) はマストセル (mast cell) 顆粒中に存在する中性プロテアーゼの一つであり、マストセルが関与する様々な生体反応に深く関与している。例えばマストセルからの脱顆粒促進、インターロイキン-1-β (Interleukin-1β, IL-1β)の活性化、マトリッ15 クスプロテアーゼ (matrix protease) の活性化、フィブロネクチンやIV型コラーゲンの分解、トランスフォーミングファクター-β (Transforming growth factor-β, TGF-β)の遊離促進、サブスタンス P (substance P) やバソアクティブインテスティナルポリペプチド (bathoactive intestinal polypeptide, VIP) の活性化、アンジオテンシン (Angiotensin, Ang) I からAng II への変換作用、エンドセリン (Endothelin) 変換作用など多様な作用が報告されている。

以上のことから、該キマーゼに対する活性阻害剤は、気管支喘息等の呼吸器疾患、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹等の炎症/アレルギー疾患;硬化性血管病変、血管内狭窄、末梢循環25 障害、腎不全、心不全等の循環器疾患;リウマチ、変形性関節症等の骨/軟骨代謝疾患などに対する予防剤および/または治療剤として有望と考えられる。

従来キマーゼ活性阻害剤としてはトリアジン誘導体(特開平8-208654号公報);ヒダントイン誘導体(特開平9-31061号公報);イミダゾリジン誘導体(国際出願W096/04248号明細書);キナゾリン誘導体(国際出願W097/11941号明細書);複素環アミド誘導体(国際出願W096/33974号明細書)などが知られているが、これらの化合物と本発明の化合物とは構造上まったく異なったものである。

一方、本発明の化合物の関連技術としては、米国特許第5124336 号明細書がある。該明細書にはトロンボキサン受容体拮抗活性を有 10 する化合物としてチオベンズイミダゾール誘導体が記載されている。 しかしながら該明細書には該化合物のヒトキマーゼ阻害活性につい ては何ら記載されていない。

そこで、本発明の目的は、臨床応用可能なヒトキマーゼ活性阻害 剤となり得る新規化合物を提供することにある。

15

#### 発明の開示

そこで本発明者らは、上記目的を達成するため鋭意検討を重ねた 結果、下記1から15を見出し本発明を完成するに至った。

1. 下記式(1)

20

(1)

(式(1)中、R¹及びR²は、同時にまたはそれぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、トリハロメチル基、シアノ基、水酸基、炭素数
 1~4のアルキル基もしくは炭素数 1~4のアルコキシ基、またはR¹及びR²は一緒になって-0-CH₂-0-、-0-CH₂-CH₂-0-もしくは-CH₂-

CH<sub>2</sub>-CH<sub>2</sub>- (この場合その炭素は、1つもしくは複数の炭素数1~4のアルキル基で置換されていてもよい。)を表す。:

Aは、単結合、置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖または 分 岐 状 の ア ル キ レ ン 基 、 置 換 も し く は 無 置 換 の 炭 素 数 6 ~ 1 1 の ア 5 リーレン基、または置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原 子を一つもしくは複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10の ヘテロアリーレン基(またここにおける置換基としては、ハロゲン 原子、OH、NO<sub>2</sub>、CN、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキル 基、直鎖状もしくは分岐状の炭素数 1 ~ 6 のアルコキシ基 (この場 10 合置換基としては、お互い隣接する部位でアセタール結合していて もよい。)、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキルチオ基、 直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキルスルホニル基、直鎖 もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の 炭素数1~6のアシルアミノ基、トリハロメチル基、トリハロメト 15 キシ基、フェニル基、オキソ基、または一つ以上のハロゲン原子で 置換されてもよいフェノキシ基を表す。これらは環またはアルキレ ン基の任意の場所で一つもしくは複数個それぞれ独立に置換されて いてもよい。}を表す。;

Eは、COOR<sup>3</sup>、SO<sub>3</sub>R<sup>3</sup>、CONHR<sup>3</sup>、SO<sub>2</sub>NHR<sup>3</sup>、テトラゾール基、5-オキソ
20 -1,2,4-オキサジアゾール基または5-オキソ-1,2,4-チアジアゾール
基 (R<sup>3</sup>は、水素原子または直鎖もしくは分岐上の炭素数 1 ~ 6 のアルキル基を表す。)を表す。;

Gは、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 6 の直鎖または分岐状のアルキレン基を表し、途中に 0、S、SO<sub>2</sub>、NR<sup>3</sup>を、一つもしくは複数 25 個含んでいてもよい。 {ここで R<sup>3</sup>は、上記定義に同じである。またここにおける置換基としてはハロゲン原子、OH、NO<sub>2</sub>、CN、直鎖もしくは分岐状の炭素数 1~ 6 のアルキル基、直鎖状もしくは分岐状

の炭素数 1 ~ 6 のアルコキシ基(この場合置換基としてお互い隣接する部位でアセタール結合していてもよい。)、トリハロメチル基、トリハロメトキシ基、フェニル基またはオキソ基を表す。);
mは、0~2の整数を表す。;

5 Jは、mが0かつAが置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖または分岐状のアルキレン基の場合、置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖、環状または分岐状のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数7~9のアリール基、置換の炭素数10~11のアリール基、置換もしくは無置換の酸素あるいは窒素および硫黄原子を一つまた10 は複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリール基を表す。

Jは、mが0かつAが置換もしくは無置換の炭素数6~11のアリーレン基、置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つまたは複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリーレン基の場合、置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖、環状または分岐状のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数6~11のアリール基あるいは置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリール基を表す。

してお互い隣接する部位でアセタール結合していてもよい。)、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキルチオ基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキルスルホニル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシルアミノ基、置換もしくは無置換のアニリド基、トリハロメチル基、トリハロメトキシ基、フェニル基、オキソ基、COOR<sup>3</sup>基、または一つ以上のハロゲン原子で置換されてもよいフェノキシ基を表す。これらは、環もしくはアルキル基の任意の場所で一つもしくは複数個それぞれ独立に置換されていてもよい。):

10 Xは、CHまたは窒素原子を表す。]

で表されるチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩 (以下「本発明のチオベンズイミダゾール誘導体」ということがある。)。

- 2. 上記式(1)において、Aが、置換もしくは無置換の炭素数 1~6の直鎖または分岐状のアルキレン基、置換もしくは無置換の 炭素数 6~11のアリーレン基、または置換もしくは無置換の酸素、 窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい 炭素数 4~10のヘテロアリーレン基であるチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。
- 20 3. 上記式(1)において、Aが、置換もしくは無置換の酸素、 窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい 炭素数 4~10のヘテロアリーレン基であるチオベンズイミダゾー ル誘導体またはその医学上許容される塩。
- 4. 上記式 (1) において、mが1であるチオベンズイミダゾー 25 ル誘導体またはその医学上許容される塩。
  - 5. 上記式 (1) において、mが2であるチオペンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。

- 6. 上記式(1)において、mが0、Aが置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖または分岐上のアルキレン基、かつJが置換もしくは無置換の炭素数7~9のアリール基、置換された炭素数10~11のアリール基、または置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリール基であるチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。
  - 7. 上記式 (1) において、mが0、Aが置換もしくは無置換の炭素数6~11のアリーレン基、または置換もしくは無置換の酸素、
- 10 窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい 炭素数4~10のヘテロアリーレン基、かつ」が置換もしくは無置 換の炭素数6~11のアリール基または置換もしくは無置換の酸素、 窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい 炭素数4~10のヘテロアリール基であるチオベンズイミダゾール 15 誘導体またはその医学上許容される塩。
  - 8. 上記式(1)において、Gが、 $-CH_2-$ 、 $-CH_2CH_2-$ 、 $-CH_2CO-$ 、 $-CH_2CH_2O-$ 、 $-CH_2CONH-$ 、-CO-、 $-SO_2-$ 、 $-CH_2SO_2-$ 、 $-CH_2S-$ または  $-CH_2CH_2S-$ であるチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上 許容される塩。
- 20 9. 上記式 (1) において、R¹及びR²が、同時に水素原子、ハロゲン原子、炭素数 1~4のアルキル基もしくは炭素数 1~4のアルキル基もしくは炭素数 1~4のアルコルコキシ基であるか、またはR¹及びR²がそれぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、炭素数 1~4のアルキル基、炭素数 1~4のアルコキシ基、トリハロメチル基、シアノ基もしくは水酸基であるチオベ25 ンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。
  - 10. 上記式 (1) において、EがCOOHまたはテトラゾール基で あるチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。

- 1 1. 上記式 (1) において、XがCHであるチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。
- 12. ヒトキマーゼ阻害作用を有することを特徴とするチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。
- 5 13.少なくとも1種のチオベンズイミダゾール誘導体またはその 医学上許容される塩と製薬学的に許容される担体とからなる医薬組 成物。
  - 14. 該医薬組成物が、疾患の予防剤および/または治療剤である医薬組成物。
- 10 15. 該疾患が、炎症疾患、アレルギー疾患、呼吸器疾患、循環器疾患または骨・軟骨代謝疾患である予防剤および/または治療剤。

## 発明を実施するための最良の形態

以下、本発明について詳細に説明する。

15 本発明の式(1)の化合物の置換基に対する上記の定義は、以下の 通りである。

R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は、同時にまたはそれぞれ独立に、水素原子、ハロゲン原子、トリハロメチル基、シアノ基、水酸基、炭素数 1 ~ 4 のアルコキシ基、またはR<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は一緒

- 20 になって-0-CH<sub>2</sub>-0-、-0-CH<sub>2</sub>-CH<sub>2</sub>-0-もしくは-CH<sub>2</sub>-CH<sub>2</sub>-CH<sub>2</sub>-を表す。
  この場合その炭素は、1つもしくは複数の炭素数1~4のアルキル
  基で置換されてよい。炭素数1~4のアルキル基として、具体的に
  はメチル基、エチル基、(n,i-)プロピル基、(n,i,s,t-)ブチル基を
  挙げることができ、好ましくはメチル基を挙げることができる。好
- 25 ましくはR¹及びR²が同時に水素原子、ハロゲン原子、炭素数1~4のアルキル基もしくは炭素数1~4のアルコキシ基であるか、またはR¹及びR²はそれぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、トリハ

ロメチル基、シアノ基、水酸基、炭素数1~4のアルキル基もしくは炭素数1~4のアルコキシ基である。ここでハロゲン原子としては、例えばフッ素原子、塩素原子、臭素原子等を挙げることができ、好ましくは塩素原子、フッ素原子を挙げることができる。炭素数1~4のアルキル基としては、メチル基、エチル基、(n,i-)プロピル基、(n,i,t-)プチル基を挙げることができ、好ましくはメチル基を挙げることができる。炭素数1~4のアルコキシ基としては、メトキシ基、エトキシ基、(n,i-)プロピルオキシ基、(n,i,s,t-)プチルオキシ基等を挙げることができ、好ましくはメトキシ基を挙げることができる。

Aは、単結合、置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖または 分岐状のアルキレン基、置換もしくは無置換の炭素数6~11のア リーレン基、または置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原 子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10の 15 ヘテロアリーレン基を表す。好ましくは置換もしくは無置換の炭素 数1~6の直鎖または分岐状のアルキレン基、置換もしくは無置換 の炭素数6~11のアリーレン基、置換もしくは無置換の酸素、窒 素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでもよい炭素数 4~10のヘテロアリーレン基を挙げることができる。置換もしく 20 は無置換の炭素数 1 ~ 6 の直鎖または分岐状のアルキレン基として はメチレン基、エチレン基、(n,i-)プロピレン基、(n,i,t-)ブチレ ン基を挙げることができ、好ましくはエチレン基を挙げることがで き る 。 置 換 も し く は 無 置 換 の 炭 素 数 6 ~ 1 1 の ア リ ー レ ン 基 と し て はフェニレン基、インデニレン基、ナフチレン基等を挙げることが でき、好ましくはフェニレン基を挙げることができる。置換もしく は無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に 含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリーレン基としてはピ

リジレン基、フラニレン基、チオフェニレン基、イミダゾレン基、 チアゾレン基、ピリミジレン基、オキサゾレン基、イソオキサゾレン基、ベンゾフニレン基、ベンズイミダゾレン基、キノリレン基、インドレン基、ベンゾチアゾレン基等を挙げることができ、好ましくはピリジレン基、フラニレン基、チオフェニレン基を挙げることができる。

また、ここにおける置換基としては、ハロゲン原子、OH、NO2、CN、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキル基、直鎖状もしくは分岐状の炭素数1~6のアルコキシ基(この場合置換基として10 お互い隣接する部位でアセタール結合していてもよい。)、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキルチオ基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキルスルホニル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、下リハロメトキシ基、フェニル15 基、または一つ以上のハロゲン原子で置換されていてもよいフェノキシ基が挙げらる。これらは環またはアルキレン基の任意の場所で一つあるいは複数個それぞれ独立に置換してもよい。具体的には、例えばOH、クロロ基、プロモ基、ニトロ基、メトキシ基、シアノ基、メチレンジオキシ基、トリフルオロメチル基、メチル基、エチル基、20 (n,i-)プロピル基、(n,i,t-)プチル基等である。

Eとしては、 $COOR^3$ 、 $SO_3R^3$ 、 $CONHR^3$ 、 $SO_2NHR^3$ 、テトラゾール基、5-オキソ-1,2,4-オキサジアゾール基または5-オキソ-1,2,4-チアジアゾール基を挙げることができ、好ましくは $COOR^3$ またはテトラゾール基を挙げることができる。ここにおける $R^3$ としては水素原子、または直鎖もしくは分岐状の炭素数  $1\sim 6$  のアルキル基が挙げられ、好ましくは水素原子、メチル基、エチル基またはt-ブチル基を挙げることができ、特に好ましくは水素原子を挙げることができる。

Gは、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 6 の直鎖または分岐状のアルキル基を表し、途中に 0、 S、 SO<sub>2</sub>、 NR<sup>3</sup>を、一つあるいは複数個含んでもよい。ここで R<sup>3</sup>は、上記定義に同じである。またここにおける置換基としてはハロゲン原子、 OH、 NO<sub>2</sub>、 CN、直鎖もしくは分 岐状の炭素数 1~ 6 のアルキル基、直鎖状もしくは分岐状の炭素数 1~ 6 のアルコキシ基(この場合置換基としてお互い隣接する部位でアセタール結合していてもよい。)、トリハロメチル基、トリハロメトキシ基、フェニル基またはオキソ基を表す。具体的には、例えば-CH<sub>2</sub>-、-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>O-、-CH<sub>2</sub>CONH-、-CO-、-10 SO<sub>2</sub>-、

 $-CH_2SO_2-$ 、 $-CH_2S-$ 、 $-CH_2CH_2S-$ 等が挙げられ、好ましいものとしては  $-CH_2-$ 、 $-CH_2CH_2-$ 、 $-CH_2CO-$ または $-CH_2CH_2O-$ を挙げることができる。 m は、 $0\sim2$ の整数を表し、好ましくは0または2を挙げることができる。 きる。

15 Jは、mが0かつAが置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 6 の直鎖または分岐上のアルキレン基の場合、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 6 の直鎖および環状または分岐状のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数 7 ~ 9 のアリール基、置換の炭素数 10~11のアリール基、置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでもよい炭素数 4 ~ 1 0 のヘテロアリール基、置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでもよい炭素数 4 ~ 1 0 のヘテロアリール基、置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでもよい炭素数 4 ~ 1 0 のヘテロアリール基が挙げられる。置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 6 の直鎖、環状または分25 岐状のアルキル基としては、メチル基、エチル基、(n,i-)プロピル基、(n,i,s,t-)プチル基、(n,i,ne,t-)ペンチル基、シクロヘキシル基等が挙げられる。置換もしくは無置換の炭素数 7 ~ 9 のアリー

WO 00/03997 PCT/JP99/03799

11

ル基としてはインデニル基が挙げられ、置換の炭素数10~11のアリール基としてはナフチル基が挙げられる。置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリール基としては、ピリジル基、フラニル基、チオフェニル基、イミダゾール基、チアゾール基、ピリミジン基、オキサゾール基、イソオキサゾール基、ベンゾフラン基、ベンズイミダゾール基、キノリン基、イソキノリン基、キノキサリン基、ベンゾオキサジアゾール基、ベンゾチアジアゾール基、インドール基、バンゾチアジール基、ベンゾチカンエニル基、ベンゾチアゾール基、ベンゾチカンエニル基等を挙げることができ、好ましくはベンゾチオフェニル基またはN-メチルインドール基を挙げることができる。

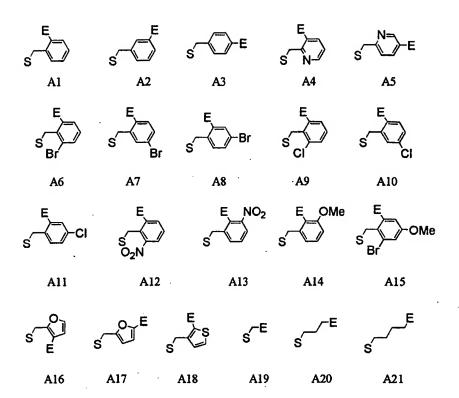
また、mが0かつAが置換もしくは無置換の炭素数6~11のアリーレン基、置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つ15 あるいは複数個環上に含んでもよい炭素数4~10のヘテロアリーレン基の場合は、置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖、環状または分岐状のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数6~11のアリール基、置換もしくは無置換の炭素数4~10のヘテロアリール基を表し、好ましくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい炭素数6~11のアリール基、置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでもよい炭素数4~10のヘテロアリール基を挙げることができる。置換もしくは無置換の炭素数6~11のアリール基としてはフェニル基、インデニル基、ナフチロアリール基を挙げることができる。置換もしくは無置換の酸素、25 ル基等を挙げることができる。置換もしくは無置換の酸素、環状または分岐状のアルキル基、置換もしくは無置換の酸素、

窒 素 お よ び 硫 黄 原 子 を 一 つ あ る い は 複 数 個 環 上 に 含 ん で い て も よ い 炭素数4~10のヘテロアリール基としては前記と同じ物が挙げら れる。またここにおける置換基としては、ハロゲン原子、OH、NO,、 CN、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキル基、直鎖状もし くは分岐状の炭素数1~6のアルコキシ基(この場合置換基として お互い隣接する部位でアセタール結合していてもよい。)、直鎖も しくは分岐状の炭素数1~6のアルキルチオ基、直鎖もしくは分岐 状の炭素数1~6のアルキルスルホニル基、直鎖もしくは分岐状の 炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のア 10 シルアミノ基、置換もしくは無置換のアニリド基、トリハロメチル 基、トリハロメトキシ基、フェニル基、または一つ以上のハロゲン 原子で置換されてもよいフェノキシ基が挙げられる。これらは環ま たはアルキル基の任意の場所で一つあるいは複数個それぞれ独立に 置換してもよい。具体的には、例えばOH、クロロ基、ブロモ基、ニ トロ基、メトキシ基、シアノ基、メチレンジオキシ基、トリフルオ・ ロメチル基、トリフルオロメトキシ基、メチル基、エチル基、 (n, i-)プロピル基、 (n, i, s, t-)ブチル基、アニリド基等である。 Xは、CHまたは窒素原子を表し、好ましくはCHを挙げることがで きる。

20 式 (1) の化合物としては、具体的には、表1から40に記載されたものが好ましいものとして挙げられる。この中で特に好ましいものとしては、化合物番号37、50、63、64、65、84、115、117、119、121、123、130、143、147、168、174、256、264、272、311、319、320、321、324、349、352、354、355、358、364、380、392、395、25 398、401、402、444、455、459、460、506、863、866、869の化合物である。

なお、表1~40中のA1~A21およびJ1~J85は以下で表される基で

ある。式中、EおよびGは前記に同じである。



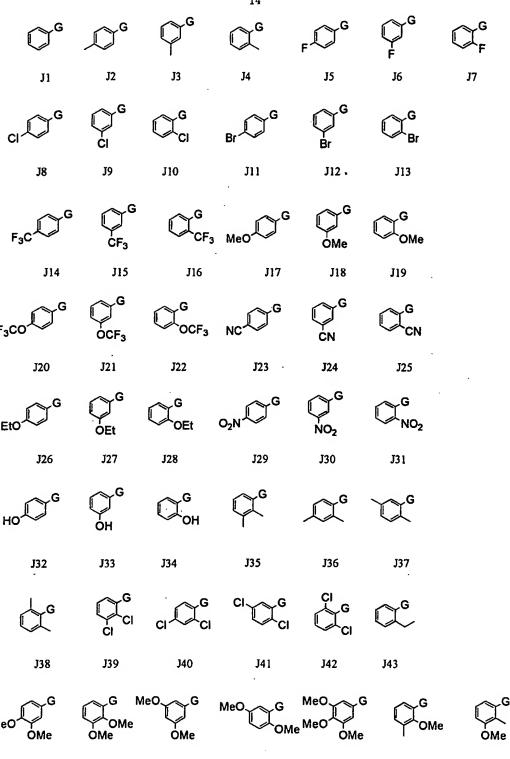
5

J44

J45

J46

1	A



J47

J48

J49

J50

WO 00/03997

表1

				<b>~</b> .				
化合物No.	R <sup>1</sup>	$\mathbb{R}^2$	Ą	E	G	J	m	X
1	Н	Н	- A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
2	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 2	0	СН
3	Н	Н	. A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J3	0	СН
4	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J4	0	СН
5	H	Н	A1 ·	СООН	CH <sub>2</sub>	J5	0	СН
6	H	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J6	0	СН
7	·H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J7	0	СН
8	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J8	0	СН
9	H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	19	0	СН
10	H	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J10	. 0	СН
11	H	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J11	0 -	СН
12	Н	· H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J12	0	СН
13	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J13	0	СН
14	H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J14	0	СН
15	Н	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J15	0	СН
16	Н	Ĥ	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J16	0	СН
17	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J17	0	СН
18	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J18	0	СН
19	H	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J19	0	CH
20	Н	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J20	0	СН
21	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J21	0	СН
22	Н	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 2 2	0	СН
23	Н	Н	A1 ·	СООН	CH <sub>2</sub>	J23	0	СН
24	H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J24	0	СН
25	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J25	0	СН
•				<del></del>				

				20				
化合物No.	$\mathbb{R}^{1}$	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	Х
26	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J26	0	СН
27	Н	Н	A1	СООН	СН2	J27	0	СН
28	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J28	0	СН
29	Н	Н	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J29	0	СН
30	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J30	0	СН
31	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J31	0	СН
32	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J32	0	СН
33	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J33	0	СН
34	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J34	0	СН
35	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0 .	СН
36	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J36	0	СН
37	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
38	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J38	0	СН
39	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
40	Н	H	Al	. СООН	CH <sub>2</sub>	J40	0	СН
41	Н	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J41	0	СН
42	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J42	0	СН
43	Н	Н	A1	С00Н	CH <sub>2</sub>	J43	0	СН
44	Н .	Н	A1	СООН	.CH <sub>2</sub>	J44	0	СН
45	Н	Н	Al	С00Н	CH <sub>2</sub>	J45	0	СН
46	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J46	0	СН
47	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J47	0	СН
48	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J48	0	СН
49	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J49	0	СН
50	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН

化合物No.	$R^1$	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	Х
51	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J51	0	СН
52	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J52	0	СН
53	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J53	. 0	СН
54	Н	Н	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J54	0	СН
55	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J55	0	СН
56	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J56	0	СН
57	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J57	0	СН
58	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J58	0 .	СН
59	Н	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J59	0	СН
60	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J60	0 .	СН
61	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J61	0	СН
62	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J62	0	СН
63	Н	. Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
64	H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
65	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
66	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J66	0	СН
67	Н	H	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
68	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J68	0	СН
69	Н	H .	· A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J69	0	СН
70	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J70	0	СН
71	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
72	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J72	0	СН
73	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J73	0	СН
74	Н	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J74	0	СН
75	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J75	0	СН

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	X
76	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J76	0	СН
77	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J77	0	СН
78	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J78	0	СН
79	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J79	0	СН
80	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J80	0	СН
81	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
82	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 2	0	СН
83	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	Ј3	0	СН
84	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 4	0	СН
85	Me	Me	A1	СООН	СН2	J5	0	СН
86	Me	Me	A1	СООН	СН2	J 6	0	СН
87	Me	Me	A1	СООН	СН2	J 7	0	СН
88	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	18	0	СН
.89	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 9	0	СН
90	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J10	0	СН
91	Me	Ме	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J11	0	СН
92	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J12	0	СН
93	Ме	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J13	0	СН
94	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J14	0	СН
95	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J15	0	СН
96	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J16	0	СН
97	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J17	0	СН
98	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J18	0	СН
99	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J19	0	СН
100	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J20	0	СН

				表5				
化合物No.	$R^1$	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	Х
101	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J21-	0	СН
102	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 2 2	0.	СН
103	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J23	0	СН
104	Me	Me	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J24	0	СН
105	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J25	0	СН
106	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J26	0	СН
107	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J27	0	СН
108.	. Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J28	0	СН
109	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J29	0	СН
110	Me	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J30	0 .	СН
111	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J31	0	CH
112	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J32	0	СН
113	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	133	0	СН -
114	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J34	0	СН
115	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0	СН
116	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J36	0	СН
117	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
118	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	138	0	СН
119	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	139	0	СН
120	Ме	Ме	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J40	0	СН
121	Ме	Ме	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J41	0	СН
122	Ме	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J42	0	СН
123	Me	Ме	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J43	0	СН
124	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J44	0	СН
125	Me	Me	A1	С00Н	CH <sub>2</sub>	J45	0	СН
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					·	

化合物No.	$\mathbb{R}^1$	$\mathbb{R}^2$	A	Е	G	J	m	X
126	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J46	0	СН
127	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J47	0	СН
128	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J48	0	СН
129	Me	Me	Al.	СООН	CH <sub>2</sub>	J49	0	СН
130	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
131	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J51	0	СН
132	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 5 2	0	СН
133	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J53	0	СН
134	Ме	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J54	0	СН
135	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J55	0	СН
136	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J56	0.	СН
137	Me	Me .	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J57	0	СН
138	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J58	0	СН
139	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J59	0	СН
140	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J60	0	СН
141	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J61	0	СН
142	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J62	0	СН
143	Me	Me	A1	С00Н	CH <sub>2</sub>	J 63	0	СН
144	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J 64	0	СН
145	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	0	СН
146	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 66	0	СН
147	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 67	0	СН
148	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 68	0	CH
149	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 69	0	СН
150	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J70	0	CH

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J <sub>.</sub>	m	Х
151	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
152	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J72	0	СН
153	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J73	0	СН
154	Me	Me	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J74	0	СН
155	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J75	0	СН
156	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J76	0	СН
157	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J77	0	СН
158	Ме	Me	. A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J78	0	СН
159	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J79	0	СН
160	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J80	0 .	СН
161	C1	Cl	, A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
162	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J4	0	СН
163	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J10	0	СН
164	Cl	Cl	A1	СООН	· CH <sub>2</sub>	J18	0	СН
165	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J21	0	СН
166	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J28	. 0	СН
1.67	·Cl	-C1	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0	СН
168	Cl	. C1	A1	СООН	СН2	J37	0	СН
169	Cl	Cl	A1	СООН	СН2	139	0	СН
170	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J43	0	СН
171	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J46	0	СН
172	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
173	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J54	0	СН
174	Cl	Cl	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
175	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	CH

•				~~				
化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	X
176	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	0	СН
177	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J66	0	СН
178	Cl	CI	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
179	Cl	Cl	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
180	-CH <sub>2</sub> C	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	СH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
181	-CH <sub>2</sub> C	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J4	0	СН
182	-CH <sub>2</sub> C	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J10	0	СН
183	-CH <sub>2</sub> C	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J18	0	СН
184	-CH <sub>2</sub> C	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J21	. 0	CH
185	-CH <sub>2</sub> C	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	.J28	0 .	CH
186	-CH <sub>2</sub> C	н <sub>2</sub> сн <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0	СН
187	-CH <sub>2</sub> C	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
188	-CH <sub>2</sub> C	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	CH
189	-CH <sub>2</sub> C	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	С00Н	CH <sub>2</sub>	J43	0	СН
190	-CH <sub>2</sub> C	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	СН <sub>2</sub>	J46	0	СН
191	-CH <sub>2</sub> Cl	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
192	-CH <sub>2</sub> Cl	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J54	0 .	СН
193	-CH <sub>2</sub> Cl	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
194	-CH <sub>2</sub> Cl	н <sub>2</sub> сн <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 64	0	CH
195	-CH <sub>2</sub> Cl	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	СН2	J 65	0	СН
196	-CH <sub>2</sub> Cl	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	С00Н	CH <sub>2</sub>	J 66	0	СН
197	-CH <sub>2</sub> Cl	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 67	. 0	СН
198	-CH <sub>2</sub> Cl	H <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
199	-0Cl	H <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	Ji	0	СН
200	-0Cl	H <sub>2</sub> 0-	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J 4	0	СН

			223				
化合物No.	R <sup>1</sup> R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	Х
201	-0CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J10	0	СН
202	-0CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J18	0	СН
203	-0CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J21	0	CH
204	-0CH <sub>2</sub> 0-	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J28	0	СН
205	-0CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0	СН
206	-0CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
207	-0CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
208	-0CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J43	0	СН
209	-0CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J46	. 0	СН
210	-осн <sub>2</sub> о-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0 .	СН
211	-осн <sub>2</sub> о-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J54	0	СН
212	-осн <sub>2</sub> о-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
213	-0CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
214	-0CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
215	-осн <sub>2</sub> о-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J66	0	СН
216	-осн <sub>2</sub> о-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
217	-0CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
218	-0CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> 0-	Ā1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
219	-осн <sub>2</sub> сн <sub>2</sub> о-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J4	0	СН
220	-осн <sub>2</sub> сн <sub>2</sub> о-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J10	0	СН
221	-0CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> 0-	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J18	0	СН
222	-0CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0	СН
223	-осн <sub>2</sub> сн <sub>2</sub> о-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
224	-0CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> 0-	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
225	-0CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> 0-	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН

表10

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	E	G	J	m	Х
226	-0CH <sub>2</sub>	CH <sub>2</sub> 0-	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
227	-0CH <sub>2</sub>	CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
228	-0CH <sub>2</sub>	CH <sub>2</sub> 0-	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
229	_	CH <sub>2</sub> 0-	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
230	-0CH <sub>2</sub>	CH <sub>2</sub> 0-	A1	• СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
231	OMe	0Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	Jl	0	СН
232	OMe	OMe	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J4	0	СН
233	0Me	OMe	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J10	0	СН
234	0Me	OMe	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J18	0	СН
235	OMe	OMe	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0 .	. CH
236	OMe	OMe	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
237	OMe	OMe	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
238	OMe	OMe	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
239	OMe	OMe	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
240	0Me	OMe	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
241	OMe	OMe	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
242	OMe	OMe	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
243	OMe	OMe	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
244	F	F	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0	СН
245	F	F	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 3 <sup>.</sup> 7	0	СН
246	· F	F	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
247	F	F	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
248	F	F	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 63	0	СН
249	F	F	A·1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
250	F	F	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0 .	СН

				4211				
化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	E	G	J	m	X
251	F	F	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
252	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0	N
253	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	N
254	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	N
255	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	N
256	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	N
257	Н	Н	A1.	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	N
258	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	N
259	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	N
260	Ме	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0	СН
261	Ме	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
262	Me	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J.39	0	СН
263	Me	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
264	Me	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
265	Me	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
266	Me	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
267	Me	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
268	OMe	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0	СН
269	OMe	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
270	OMe	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
271	OMe	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
272	OMe	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
273	OMe	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
274	OMe	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
275	OMe	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН

表12

化合物No.	$R^1$	$\mathbb{R}^2$	A	Е	G	J	m	Х
276	0E t	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
277	0E t	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
278	0E t	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
279	CF3	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
280	CF3	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
281	CF3	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
282	CN	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
283	CN	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
284	CN	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
285	Cl	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	N
286	Cl	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	N
287	Cl	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	N
288	Me	Me	A2	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0	СН
289	Me	Me	A2	C00H	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
290	Me	Me	A2	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
291	Me	Me	A2	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
292	Ме	Me	A2	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
293	Ме	Me	A2	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
294	Me	Ме	A2	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	.0	СН
295	Me	Me	A3	СООН	CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
296	Me	Me	A3	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0	СН
297	Me	Me	A3	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	. 0	СН
298	Me	Me	A3	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
299	Me	Me	A3	СООН	·CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
300	Ме	Me	А3	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН

表13

化合物No.	R <sup>1</sup>	$\mathbb{R}^2$	A	Е	G	J	m	Х
301	Me	Me	A3	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
302	Ме	Me	A3	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0.	СН
303	Me	Me	A3	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
304	Me	Me	A3 .	СООН	СH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
305	Me	Me	A3	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
306	Me	Me	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
307	Me	Me	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J35	0	СН
308	Me	Me	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
309	Me	Me	A4	СООН	CH <sub>2</sub> .	139	0	СН
310	Me	Me ·	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0 .	СН
311	Me	Me	A4 .	СООН.	CH <sub>2</sub>	J63	. 0	СН
312	Me	Me	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
313	Me	Ме	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
314	Me	Me	A4	СООН	. CH <sub>2</sub>	J67	. 0	СН
315 .	Me	Me	A4	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
316	Me	Ме	A4	COOH	СH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
317	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
318	. Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
319	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
320	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
321	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	. CH
322	Cl	Cl	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
323	Cl	Cl	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
324 .	Cl	Cl	. A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
325	Cl	Cl	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	CH.

表14

X CH N	m	J	G					// A 44-37
N N		•	G	E	A	R <sup>2</sup>	R <sup>1</sup>	化合物No.
N	0	J65	CH <sub>2</sub>	СООН	A4	Cl	Cl	326
	0	J37	CH <sub>2</sub>	СООН	A4	Н	Н	327
NT NT	0	J39	CH <sub>2</sub>	СООН	A4	Н	Н	328
N	0	J63	CH <sub>2</sub>	СООН	A4 .	Н	Н	329
N	0	J64	CH <sub>2</sub>	СООН	A4	Н	Н	330
N	0	J65	CH <sub>2</sub>	СООН	A4	Н	Н	331
СН	0	J1 .	CH <sub>2</sub>	СООН	A5	Me	Me	332
СН	0	J1	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	СООН	A5	Me	Me	333
СН	0	J1	CH <sub>2</sub>	СООН	A6	Me	Me	334
СН	0 .	J1	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	СООН	A6	Ме	Me	335
СН	0	J1	CH <sub>2</sub>	СООН	A7	Me	Me	336
СН	0	J1	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	СООН	A7	Me	Me	337
СН	0	J1	CH <sub>2</sub>	СООН	A8	Ме	Me	338
СН	0	J1	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	СООН	A8	Me	Ме	339
СН	0	J1	CH <sub>2</sub>	СООН	A9	Ме	Ме	340
СН	. 0	J1	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	СООН	A9	Ме	Ме	341
СН	0	J1	CH <sub>2</sub>	СООН	A10	Ме	Ме	342
СН	0	JI	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	СООН	A10	Me	Ме	343
СН	0	J37	CH <sub>2</sub>	СООН	A11	Ме	Me	344
СН	0	J39	CH <sub>2</sub>	СООН	A11	Me	Me	345
СН	0	J50	CH <sub>2</sub>	СООН	A11	Me	Me	346
СН	0	J63	CH <sub>2</sub>	СООН	A11	Me	Me .	347
СН	0	J64	CH <sub>2</sub>	СООН	A11	Me	Me	348
СН	0	J37	CH <sub>2</sub>	СООН	A11	Н	Н	349
СН	0	J39	CH <sub>2</sub>	СООН	A11	Н	Н	350
	0 0 0 0 0	J1 J37 J39 J50 J63 J64 J37	CH <sub>2</sub>	COOH COOH COOH COOH COOH	A10 A11 A11 A11 A11 A11 A11	Me Me Me Me Me Me Me	Me Me Me Me Me Me H	343 344 345 346 347 348 349

表15

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	E	G	J·	m	X
351	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	CH
352	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	CH
353	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
354	Н	Н	A11.	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	0	СН
355	Cl	Cl	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
356	Cl	Cl	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
357	Cl	Cl	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
358	Cl	Cl	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J 63	0	СН
359	Cl	Cl	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J 64	0	СН
360	Cl	Cl	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	0 .	СН
3,61	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	N
362	H	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	139	0	N
363	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J 50	0	N
364	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	N
365	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	· N
366	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	0	N
367	Me	Me	A12	СООН	CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
368	Me	Me	A12	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
369	Me	Me	A13	СООН	CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
370	Me	Me	A13	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	· J1	0	СН
371	Me	Me	A14	СООН	CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
372	Me	Me	A14	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
373	Me	Me	A15	СООН	CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
374	Me	Me	A15	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
375	Me	Me	A16	СООН	CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
					<del></del>			

表16

化合物No.	R <sup>1</sup>	$\mathbb{R}^2$	A	E	G	J	m	X
376	Me	Me	A16	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
377	Me	Me	A16	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
378	Me	Me	A16	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
379	Me	Me	A16	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
380	Me	Me	A16	СООН	СН2	J63	0	СН
381	Me	Me	A16	С00Н	СН2	J64	0	СН
382	Me	Me	A16	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	0	СН
383	Н	Н	A16	СООН	СН2	J37	0	СН
384	Н	Н	A16	СООН	CH <sub>2</sub>	139	0	СН
385	Н	Н	A16	СООН	CH <sub>2</sub>	J 50	0	СН
386	Н	Н	A16	СООН	CH <sub>2</sub>	J 63	0	СН
387	Н	Н	A16	СООН	CH <sub>2</sub>	J 64	0	СН
388	Н	. Н	A16	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	0	СН
389	Ме	Me	A17	СООН	CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
390	Me	Me	A17	СООН	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub>	. J1	0	СН
391	Me	Me	A18	СООН	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub>	J1	0	СН
392	Ме	Me	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
393	Me	Me	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J 39	0 .	CH
394	Me	Me	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
395	Ме	Me	A18	СООН	СН2	J63	0	СН
396	Ме	Ме	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J 64	0	СН
397	Me	Me	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	0	СН
398	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
399	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
400	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0 .	СН

表17

化合物No.	$\mathbb{R}^1$	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	X
401	H	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J 63	0	СН
402	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J 64	0	СН
403	Н	H	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	0	СН
404	Cl	Cl	A18.	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
405	Cl	Cl	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J 63	0	СН
406	Cl	Cl	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
407	Cl	Cl	A18	СООН		J 65	0	СН
408	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	N
409	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	N
410	H	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	N
411	Н	H	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	N
412	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	N
413	Me	H	A18	СООН.	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
414	Me	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
415	Me	Н	A18	COOH	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
416	Me	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	· 0	СН
417	Me	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
418	OMe	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
419	OMe	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
420	OMe	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
421	0Me	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
422	0Me	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
423	0E t	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
424	0E t	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub> .	J64	0	СН
425	0E t	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН

表18

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	E	G	J	m	Х
426	CF3	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
427	CF3	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
428	CF3	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
429	CN	Н	A18.	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
430	CN	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
431	CN	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
432	F	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
433	F	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
434	F	Н	A18	СООН	СН2	J 65	0	СН
435	Cl	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	N
436	Cl	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	N
437	C1	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	N
438	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	N
439	Me	Me	· A19	СООН	CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
440	Me	Ме	A19	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
441	Me	Ме	A19	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
442	Me	Me <sup>-</sup>	A19	СООН -	CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
443	Me	Me	A19	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
444	Ме	Me	A19	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
445	Ме	Me	A19	СООН	СН2	J64	0	СН
446	Me	Me	A19	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
447	Н	. Н	A1-9	СООН	CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
448	Н	Н	A19	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
449	Н	Н	A19	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
450	Н	Н	A19	СООН	. СН <sub>2</sub>	J 39	0	СН

表19

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	X
451	Н	Н	A19	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
452	H	Н	A19	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
453	Н	Н	A19	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
454	Н	Н	A19	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
455	Ме	Me	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
456	Me	Me	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
457	Me	Me	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
458	Me	Me	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
459	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
460	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
461	Н	Н	A20	СООН	. CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
462	Н	Н	A20	СООН	СН2	J71	0	СН
463	Cl	Cl	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
464	Cl	Cl	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
465	Cl	Cl	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
466	Cl	Cl	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
467	Ĥ	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	.N
468	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	N ·
469	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	N
470	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	N
471	Ме	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
472	Me	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
473	Ме	H	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	. 0	СН
474	Me	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
475	0Me	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J 64	0	СН

化合物No.	$R^{1}$	R <sup>2</sup>	A	E	G	J	m	X
476	OMe	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
477	OMe	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
478	OMe	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
479	0Et	Н	A20.	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
480	0Et	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
481	0E t	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
482	0Et ·	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
483	F	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
484	F	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	. 0	СН
485	F	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0 .	СН
486	F	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
487	CF3	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
488	CF3	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
489	CF3	Н	A20 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
490	CF3	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	· J71	0	СН
491	CN	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
492	CN	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
493	CN	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
494	CN	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	СН
495	Cl	Н	A20	С00Н	CH <sub>2</sub>	J64	0	N
496	CI	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	N
497	Cl	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J67	0	N
498	Cl	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J71	0	N
499	Н	Н	A21	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
500 .	Н	Н	A21	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН

表21

化合物No.	R <sup>1</sup>	$\mathbb{R}^2$	A	E	G	J	m	Х
501	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
502	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
503	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
504	Ме	Me	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J50	0	СН
505	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J62	0	СН
506	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
507	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
508	Me	Me	A1	СООН	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub>	J 65	0	СН
509	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J1	0	СН
510	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
511	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
512	Н	Н	A1	СООН	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub>	J50	0 .	СН
513	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J62	0	СН
514	H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
515	Н	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
516	Н	H	A1	СООН	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub>	J65	0	СН
517	Me	Ме	A4	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
518	Me	Ме	A4	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
519	Me	Me	A4	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J67	0	СН
520	Me	Me	A4	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J 64	0	СН
521	Me	Me	A4	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
522	Н	Н	. A4	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
523	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
524	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
525	Н	Н	A4	СООН	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub>	J64	0	СН
		· · · · · ·						

表22

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	E	G	·J	m	X
526	Н	H	A4	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
527	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
528	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
529	Н	Н	A11 .	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
530	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
531	H.	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
532	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J37	. 0	СН
533	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	139	0	CH
534	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
535	Н	• Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J64	0	CH.
536	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
537	Me	Me	A20	СООН	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub>	J37	0	СН
538	Me	Me	A20	СООН	сн <sub>2</sub> сн <sub>2</sub>	139	0	СН
539	Me	Me	A20	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
540	Me	Me	A20	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
541	Me	Me	A20	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
542	Н	Н	A20 .	С00Н	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub>	J37	0	СН
543	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J39	0	СН
544	Н	Н	A20	СООН	СH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
545	Н	·H	A20	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
546	Н	H	A20	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub>	J65	0	CH
547	Ме	Me	Al	СООН	CO	J1	0	СН
548	Me	Me	A1	СООН	CO	J 63	0	СН
549	Н	Н	A1	СООН	CO	J1 ·	0	СН
550	Н	Н	Al	СООН	· CO	J63	· 0	СН

表23

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	E	G	J	m	Х
551	Me	Me	A4	СООН	CO	J1	0	СН
552	Me	Me	A4	СООН	CO	J63	0	СН
553	Н	Н	A4	СООН	CO	J1	0	СН
554	Н	Н	A4 .	СООН	CO	J63	0	СН
555	Н	Н	A11	СООН	CO	J1	0	СН
556	Н	Н	A11	СООН	CO	J63	0	CH
557	Н	Н	A18	СООН	CO	J1	0	СН
558	Н	Н	A18	СООН	CO ,	J63	0	СН
-559	Н	Н	A20	СООН	CO	J1	0	СН
560	Н	Н	A20	СООН	CO	J 63	0	СН
561	Ме	Me	A1	СООН	SO <sub>2</sub>	J1	0	СН
562	Ме	Me	A1 -	СООН	SO <sub>2</sub>	J63	0	СН
563	Н	Н	A1	СООН	SO <sub>2</sub>	J1	. 0	СН
564	Н	Н	A1	СООН	so <sub>2</sub>	J63	0	СН
565	Н	. Н	A4	СООН	so <sub>2</sub>	J1	0	СН
566	Н	H	A4	СООН	SO <sub>2</sub>	J 63	0	СН
567	Н	Н	A11	С00Н	so <sub>2</sub>	J1	0	СН
568	Н	Н	A11	С00Н	so <sub>2</sub>	J63	0	СН
569	Н	Н	A18	С00Н	SO <sub>2</sub>	J1	0	СН
570	Н	Н	A18	СООН	so <sub>2</sub>	J63	0	СН
571	Н	Н	A20	СООН	so <sub>2</sub>	J1	0	СН
572	Н	Н	A20	СООН	so <sub>2</sub>	J63	0	СН
573	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J1	0	СН
574	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J2	0	СН
575	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J3	0	СН

表24

化合物No.	R	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	X
576	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J4	0	СН
577	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J5	0	СН
578	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J6	0	СН
579	Н	Н	Al .	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J7	0	СН
580	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	18	0	CH
581	Н	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J9	0	СН
582	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J10	0	СН
583	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J11	0	СН
584	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J12	0	СН
585	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J13	0	СН
586	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J17	. 0	СН
587	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J18	0	СН
588	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J19	0	СН
589	Н	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J23	0	СН
590	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J24	0	СН
591	Н	Н	A1	C00H	CH <sub>2</sub> CO	J25	0	СН
592	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J36	0	СН
593	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J47	0	СН
594	H	Н	A1	COOH	CH <sub>2</sub> CO	J57	0	СН
595	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J62	0	СН
596	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J1	0	СН
597	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J 2	0	СН
598	Me	Me	Al	СООН .	CH <sub>2</sub> CO	J3	0	СН
599	Me	Me	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub> CO	·J4	0	СН
600	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J 5	0	СН

表25

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	Х
601	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J 6	0	СН
602	Ме	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J7	0	СН
603	Me	Me	A1	СООН	СН2СО	Ј8	0	СН
604	Ме	Me	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J9	0	СН
605	Me	Me	A1	СООН	СН2СО	J10 ·	0	СН
606	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J11	0	СН
607	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J12	0	СН
608	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J13	0	СН
609	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J17	0	СН
. 610	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J18	0	СН
611	Ме	Ме	A1	COOH	CH <sub>2</sub> CO	J19	0	СН
612	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J23	0	СН
613	Me	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J24	0	СН
614	Ме	Ме	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J25	0	СН
615	Me	Ме	. A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J36	0	СН
616	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J47	0	СН
617	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J57	0	СН
618	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CO	J62	0	СН
619	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J1	0	СН
620	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J2	0	СН
621	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J3	0	СН
622	H	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J4	0	СН
623	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J5	0	СН
624	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J 6	0	СН
625	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J7	0	СН

626 627 628 629 630	H H H H	Н Н Н Н	A1 A1 A1 A1	COOH COOH	CH <sub>2</sub> CONH CH <sub>2</sub> CONH CH <sub>2</sub> CONH	J8 J9 J10	0 0	CH CH
628	H H H	H	A1 A1 .	СООН	CH <sub>2</sub> CONH			
629	H H	Н	A1 .			J10	0	CTT
	Н			СООН				CH
630		Н			CH <sub>2</sub> CONH	J11	0	СН
000	Н		Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J12	0	СН
631		Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J13	0	СН
632	H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J14	0	СН
633	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J15	0	СН
634	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J16	0	СН
635	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J17	0	СН
636	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J18	0	СН
637	H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J19	0	СН
638	H	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J20	0	СН
639	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J21	0	СН
640	H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J 2 2	0	СН
641	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J23	0	СН
642	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J24	0	СН
643	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J 25	0	СН
644	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J26	0	СН
645	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J27	0	СН
646	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J28	0	СН
647	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J29	0	СН
648	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J30	0	СН
649	H	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J31	0	СН
650	H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J32	0	СН

				224				
化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	· A	E	G	J	m	X
651	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	133	0	СН
652	H	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J34	0	СН
653	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J35	0	СН
654	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J37	0	СН
655	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J39	0	СН
656	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J62	0	СН
657	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J63	0	СН
658	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J1	0	СН
659	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J2	0	СН
660	Me	Me	.A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J3	0	СН
661	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J4	. 0	СН
662	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J5 <sup>-</sup>	0	СН
663	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J 6	0	СН
664	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J:7	0	СН
665	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	18	0	СН
666	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J9	0	СН
667	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J10	0 .	СН
668	Me	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J11	0	СН
669	Me	Me ·	. A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J12	0	СН
670	Me	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J13	0	СН
671	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J14	0	СН
672	Me	Me	À1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J15	0	СН
673	Me	Ме	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J16	. 0	- СН
674	Ме	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J17	0	СН
675	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J18	0	СН

				-,				
化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	Х
676	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J19	0	СН
677	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J20	0	СН
678	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J21	0	СН
679	Me	Me	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J22	0	СН
680	Me	Me	A1	. соон	CH <sub>2</sub> CONH	J23	0	СН
681	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J24	0	СН
682	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J25	0	СН
683	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J26	0	СН
684	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J27	0	СН
685	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J28	0	СН
686	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J29	0	СН
687	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	130	0	СН
688	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J31	0	СН
689	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J32	0	СН
690	Me	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J33	0	СН
691	Me	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J34	0	СН
692	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J35	0	СН
693	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J37	0	СН
694	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	· J39	0	СН
695	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J62	0	СН
696	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CONH	J63	0	СН
697	H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J1	0	СН
698	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J2	0	СН
699	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J3	0	СН
700	Н	Н	A1	СООН	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub> О	J4	0	СН

表29

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	E	G	J	m	Х
701	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J5	0	СН
702	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J 6	0	СН
703	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J 7	0	СН
704	Н	Н	A1	. СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	18	0	СН
705	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	19	. 0	СН
706	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J10	0	СН
707	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J11	0	СН
708	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J12	0	СН
709	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J13	0	СН
710	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J14	0	СН
711 .	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J15	0	СН
712	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J16	0	СН
713	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J17	0	СН
714	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J18	0	СН
715	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J19	0	СН
716	Н	Н	A1	СООН	Сн <sub>2</sub> Сн <sub>2</sub> О	J20	0	СН
717	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J21	0	СН
718	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J22	0	СН
719	H	Н	A1	СООН	сн <sub>2</sub> сн <sub>2</sub> о	J23	0	СН
720	Н	Н	A1	СООН	сн <sub>2</sub> сн <sub>2</sub> о	J24	0	СН
721	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J 25	0	СН
722	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J26	0	СН
723	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J27	0	СН
724	Н	Н	A1	COOH	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J28	0	СН
725	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J29	0	СН
	<del></del>							

表30

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	E	G	J	m	X
726	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J30	0	СН
727	Н	Н .	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J31	0	СН
728	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J32	0	СН
729	Н	Н	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	133	0	СН
730	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J34	0	СН
731	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J35	0	СН
732	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J37	0	СН
733	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J39	0	СН
734	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J62	0	СН
735	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J63	0	СН
736	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J1	0	СН
737	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J2	0	СН
738	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J3	0	СН
739	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J4	0	СН
740	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J5	0	СН
741	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J6	0	СН
742	Me	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J7	0	CH
743	Me	Ме	Al	СООН	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub> О	18	0	СН
744	Ме	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J 9	0	СН
745	Ме	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J10	0	СН
746	Ме	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J11	0	СН
747	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J12	0	СН
748	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J13	0	СН
749	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J14	0	СН
750	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J15	0	СН
			<del></del>		<del></del>			

表31

				20.				
化合物No.	$\mathbb{R}^1$	R <sup>2</sup>	A	E	G	J	m	Х
751	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J15	0	СН
752	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J16	0	СН
753	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J17	0	СН
754	Me	Me	A1 .	СООН	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub> О	J18	0	СН
755	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J19	0	СН
756	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J20	0	СН
757	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J21	0	СН
758	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J22	0	СН
759	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J23	0	СН
760	Me	Ме	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J24	0 .	СН
761	Me .	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J25	0	СН
762	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J26	0	СН
763	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J27	0	СН
764	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J28	0	СН
765	Me	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J29	0	СН
766	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J30	0	СН
767	Me	Me	· A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J31	0	СН
768	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J32	0	СН
769	Ме	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J33	0	СН
770	Me	Me	A1	- СООН	СH <sub>2</sub> СH <sub>2</sub> О	J34	0	СН
771	Ме	Me	A1	СООН	СН2СН20	J35	0	СН
772	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J37	0	СН
773	Me	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J39	0	СН
774	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J62	0	СН
775	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> O	J63	0	СН
		<del> </del>						

表32

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	X
776	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> S	J1	. 0	СН
777	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> S	J2	0	СН
778	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> S	13	0	СН
779	Н	Н	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub> S	J4	0	СН
780	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> S	18	0	СН
781	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub> S	J9	0	СН
782	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> S	J10	0	СН
783	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> S	J1	0	СН
784	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> S	J2	. 0	СН
785	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> S	J3	0 .	СН
786	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> S	J4	0	СН
787	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> S	18	0	СН
788	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> S	J9	0	СН
789	Me	Ме	A1	СООН	CH <sub>2</sub> S	J10	0	СН
790	Н	Н	- A1	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	J1	0	СН
791	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	J2	0	СН
792	Н	. Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	J3	0	СН
793	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	J4	0	СН
794	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	Ј8	0	СН
795	Н	Н	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	19	0	СН
796	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	J10	0	СН
797	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	J1	0	СН
798	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	Ј2	0	СН
799	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	J3	0	СН
800	Ме	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	J4	0	СН
						<del></del>		

表33

化合物No.	Ri	R <sup>2</sup>	A	Е	G	J	m	X
801	Me	Me	Al	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	J8	0	СН
802	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	J9	0	СН
803	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub> SO <sub>2</sub>	J10	0	СН
804	Me	Me	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J81	0	СН
805	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J82	0	СН
806	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J83	0	СН
807	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J84	0	СН
808	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J85	0	СН
809	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J81	0	СН
810	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J82	0 .	СН
811	Н	Н	A1	СООН	СН <sub>2</sub>	J83	0	СН
812	Н	Н	A1 ·	СООН	CH <sub>2</sub>	J84	0	СН
813	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J85	0	СН
814	Ме	Me	A1	СООН	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub>	J1	1	СН
815	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	. J1	1	СН
816	Ме	Ме	A1 <sup>-</sup>	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	1	СН
817	Ме	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	1 .	СН
818	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	1	СН
819	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	163	1	СН
820	Me	Me	A1	СООН	.CH <sub>2</sub>	J 64	1	СН
821	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	1	СН
822	Н	Н	. A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	1	СН
823	Н	Н	. A1	СООН	CH <sub>2</sub>	139	1	СН
824	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50.	1	СН
825	Н	H	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	1	СН

				22.04				•
化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	E	G	J	m	X
826	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	1	СН
827	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	1 .	СН
828	Cl	Cl	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	1	СН
829	Cl	Cl	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	1	СН
830	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	1	СН
831	Cl	Cl	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	1	СН
832	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	1	СН
833	CI	C1	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	1	СН
834	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	1	СН
835	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	1 .	СН
836	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	1	СН
837	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	1	СН
838	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	. 1	СН
839	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	1	СН
840	Н.	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	1	СН
841	Н .	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	1	СН
842	Н	· H	A11	СООН -	CH <sub>2</sub>	J50	1	СН
843	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	1	СН
844	Н	Н	A11	СООН	СН2	J 64	1	СН
845	Н	H	A11	СООН	СН2	J 65	1	СН
846	Н	H	A18 ·	СООН	СН2	J37	1	СН
847	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	1	СН
848	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	1	СН
849	Н	·H	A18	СООН	· CH <sub>2</sub>	J63	1	СН
850	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	1	СН

				200	•			
化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	E	G	J	m	Х
851	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	165	1	СН
852	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	1	СН
853	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	1	СН
854	Н	Н	A20 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	1	CH
855	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	1	СН
856	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	1	СН
857	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	1	СН
858	Me	Me	A1	СООН	СН <sub>2</sub> СН <sub>2</sub>	J1	2	СН
859	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J1	2	СН
860	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
861	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	2	СН
862	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	2	СН
863	Me	Me	· A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН
864	Me	Me	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	СН
865	Me	Me	Al	СООН	- CH <sub>2</sub>	J65	2	СН
866	·H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
867	H <sub>.</sub>	• Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	2	СН
868	Н	Н -	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	2	СН
869	H	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	- СН
870	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J 64	2	СН
871	Н	Н	Al .	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	СН
872	Cl	Cl	A1	СООН	· CH <sub>2</sub>	_ J37	2	СН
. 873	Cl	Cl	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	2	СН
874	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	2	СН
875	.C1	CI	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН

					•			
化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	E	G	J	m	Х
876	Cl	C1	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	СН
877	Cl	Cl	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	СН
878	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	N
879	Н	Н	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J39	2	N
880	Н	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J50	2	N
881	Н	Н	A1 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	N
882	Н	Н	A1	СООН	. CH <sub>2</sub>	J64	2	N
883	Н	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2 .	N
884	Me	Н	A1	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
885	Me	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН
886	Me	Н	Ai	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	. 2	СН
887	Me	Н	Al	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	СН
888	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
889	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН
890	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J 64	2	СН
891	H	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	2	СН
892	Me	Me	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
893	Me	Мe	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН
894	Me	Me	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J 64	2	СН
895	Me	Me	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	2	СН
896	Cl	Cl	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
897	Cl ·	CI	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2 .	СН
898	Cl	Cl	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	СН
899	Cl	Cl	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	СН
900	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	N

化合物No.	$\mathbb{R}^1$	R <sup>2</sup>	A	E	G	J	m	Х
901	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	N
902	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J64 ·	2	N
903	Н	Н	A4	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	N
904	Н.	Н	A11.	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
905	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН
906	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	СН
907	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	СН
908	Me	Me	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
909	Me	Me	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН
910	Me	Me	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	СН
911	Me	Me	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	2	СН
912	Cl	CI	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
913	Cl	Cl	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН
914	Cl	Cl	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	CH
915	Cl	Cl	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	СН
916	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	N
917	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	N .
918	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	N
919	Н	Н	A11	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	N
920	Me	Me	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
921	Me	Me	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН
922	Me	Me	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	СН
923	Ме	Me	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J:65	2	СН
924	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
925	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН

WO 00/03997 PCT/JP99/03799

表38

化合物No.	$\mathbb{R}^{1}$	$\mathbb{R}^2$	A	E	G	J	m	Х
926	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	СН
927	Н	H	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	СН
928	Cl	Cl	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2 .	СН
929	Cl	Cl	A18 .	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН
930	Cl	Cl	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	СН
931	<b>C</b> 1	Cl	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	СН
932	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	N
933	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	N
934	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	N
935	Н	Н	A18	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2 .	N
936	Me	·Me	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
937	Me	Me	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН
938	Me	Me	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	СН
939	Me	Me	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	СН
940	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
941	Н	H	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН
942	H	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	СН
943	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	СН
944	Cl	Cl	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	СН
945	Cl	Cl	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	СН
946	C1	Cl	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	СН
947	Cl	CI.	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J 65	2	СН
948	Н	Н	. A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J37	2	N
949	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J63	2	N
950	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J64	2	N

化合物No.	R <sup>1</sup>	R <sup>2</sup>	A	Е	G .	J	m	Х
951	Н	Н	A20	СООН	CH <sub>2</sub>	J65	2	N
952	Me	Me	A1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
953	Me	Me	A1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
954	Me	Me	A1 .	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
955	Me	Me	A1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
956	Н	Н	A1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
957	Н	Н	A1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
958	Н	Н	A1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
959	Н	Н	Al	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
960	Cl	Cl	Al	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
961	Cl	Cl	A1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
962	Cl	Cl	A1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
963	Cl	Cl	A1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
964	Н	Н	A1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J37	0	N
965	H	Н	A1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J63	. 0	N
966	H	Н	Ā1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J64	0	N
967	Н	Н	A1	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J65	0	N
968	Н	Н	A4	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
969	Н	Н	A4	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
970	Н	Н	A4	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
971	Н	Н	A4	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
972	Н	Н	A18	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
973	Н	Н	A18	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
974	Н	Н	A18	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
975	Н	Н	A18	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН

表40

化合物No.	R <sup>1</sup>	$\mathbb{R}^2$	A	E	G	J	m	Х
976	Me	Me	A19	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
977	Me	Me	A19	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J 63	. 0	СН
978	Me	Ме	A19	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J 64	0	СН
979	Me	Me	A19	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
980	Н	Н	A19	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
981	Н	Н	A19	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
982	Н	Н	A19	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
983	Н	Н	A19	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J65	0	СН
984	Me	Me	A20	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
985	Me	Me	A20	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J63	0 .	СН
986	Me	Me	A20	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J64	0.	СН
987	Me	Me	A20	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J 65	0	СН
988	Н	H	A20	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J37	0	СН
989	Н	Н	A20	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J63	0	СН
990	Н	H	A20	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J64	0	СН
991	Н	Н	A20	tetrazol	CH <sub>2</sub>	J 65	0	СН

本発明のチオベンズイミダゾール誘導体 (1) において、Eが COOH、mが O の場合、以下に示す合成法 (A) または (B) により製造することができる。

合成法 (A)

5

[式中、Zはハロゲンを示し、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、A、G、JおよびXは前記に同じである。]

すなわち、2-ニトロアニリン誘導体(a1)のニトロ基を還元しオ 10 ルトフェニレンジアミン(a2)を得る。これにCS₂を反応させ、化 合物(a3)とした後、これにハライドエステル誘導体(a4)を反応 させ(a5)を得、さらにこれにハライド誘導体(a6)を反応させ (a7)を得、これを加水分解することにより本発明のベンズイミダ ゾール誘導体(a8)を得ることができる。

15 ニトロ基の還元は通常の接触還元反応の条件に従い、例えばPd-C 等の触媒存在下、室温~100℃の温度で水素ガスと反応させること により行うことができる。また、酸性条件下で、亜鉛やスズを用い て処理する方法、中性またはアルカリ性条件下で亜鉛末を用いる方 法により行うことができる。

20 オルトフェニレンジアミン誘導体 (a2) とCS2の反応は例えば ザ・ジャーナル・オブ・オーガニック・ケミストリー (J. Org. Chem.) 1954年19巻631-637頁 (Pyridine solution)または

ザ・ジャーナル・オブ・メディシナル・ケミストリー

(J. Med. Chem) 1993年36巻1175~1187頁 (EtOH solution) 記載の 方法により行うことができる。

チオベンズイミダゾール類 (a3) とハライドエステル (a4) との反応は、通常のS-アルキル化反応の条件に従い、例えばNaH、Et<sub>3</sub>N、

5 NaOH、K₂CO₃等の塩基の存在下に0℃~200℃の温度で攪拌する ことにより行うことができる。

カルボキシ保護基R³の脱離反応としては、水酸化リチウム等のアルカリまたは塩酸、トリフルオロ酢酸等の酸を用いて加水分解する方法を用いることが好ましい。

合成法 (B)

15

すなわち、2-ニトロアニリン誘導体 (a1) のアミノ基をLにより保護し(b1)得る。これにハライド誘導体 (a6) を反応させ (b2) を得、Lを脱保護することにより(b3)を得る。(b3)のニトロ基を還元 しオルトフェニレンジアミン誘導体 (b4) を得る。これにCS₂を反応させ、化合物 (b5) とした後、これにハライドエステル誘導体

(a4) を反応させ(a7) を得、これを加水分解することにより本発明のベンズイミダゾール誘導体を得ることができる。また、2-ニトロアニリン誘導体(a1) に対して無保護のままハライド誘導体

ロアニリン誘導体 (a1) に対して無保護のままハライド誘導体 (a6) またはアルデヒド誘導体 (b6) を反応させることにより化合 5 物 (b3) を直接得ることも可能である。保護基Lとしては、トリフルオロアセチル基、アセチル基、 t - ブトキシカルボニル基、ベンジル基等が挙げられる。2-ニトロアニリン誘導体 (a1) とアルデヒド誘導体 (b6) の反応は、LiAlH₄、NaBH₄、NaBH₃CN、NaBH(OAc)₃などの複合水素化合物やジボラン等の還元剤を用い、エタノール、メ10 タノール、ジクロロメタン等の溶媒中、0℃~200℃の温度条件下によって通常の還元アミノ化の方法により行なうことができる。その

本発明のチオベンズイミダゾール誘導体 (1) においてEがCOOH、mが 0、Gがアミド結合である場合、以下に示す合成法 (C)により 15 製造することができる。

他の反応は合成法 (A)と同様に行なうことができる。

合成法 (C)

20 [式中、Qはメチレン基、フェニレン基等を示し、Zはハロゲンを示す。R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、A、JおよびXは前記に同じである。ただしここでR<sup>3</sup>は、メチル基、エチル基等の酸性においては不活性な保護基とす

る。]

すなわち、チオベンズイミダゾール化合物 (a5)に tert-ブチルエステルハライド誘導体 (c1)を反応させ化合物 (c2)を得、これを酸性条件下加水分解することにより (c3)を得る。これにアミン誘導体 (c4)を縮合させ (c5)を得、これを加水分解することにより本発明のベンズイミダゾール誘導体が得られる。

縮合アミド化の条件は縮合剤を用いる一般的な方法が用いられる。 縮合剤としてはDCC、DIPC、EDC=WSCI、WSCI・HC1、BOP、DPPA等が 挙げられ、これらを単独で用いるかまたはHONSu、HOBt、HOOBt等と 10 組み合わせて用いる。反応はTHF、クロロホルム、t-ブタノール等 の適当な溶媒中、0℃~200℃の温度条件下で行われる。その他の反 応については合成法(A)と同様に行なうことができる。

本発明のチオベンズイミダゾール誘導体 (1) においてEがCOOH、mが 0、Gがエーテル結合を有する場合においては、以下に示す合 15 成法 (D)により製造することができる。

合成法 (D)

20 [式中、2はハロゲンを示す。R¹、R²、R³、A、JおよびXは前記に同じ である。]

すなわち、チオベンズイミダゾール化合物 (a5)に、たとえばハライドアルコール誘導体 (d1)を反応させ、化合物 (d2)を得る。これにフェノール誘導体 (d3)を反応させ、エーテル体 (d4)を得、これを加25 水分解することにより本発明のベンズイミダゾール誘導体が得られ

る。

エーテル化反応はトリフェニルホスフィン、トリブチルホスフィ ン等のホスフィン化合物およびDEAD、TMAD等のアゾ化合物を用い、 N-メチルモルホリン、THFなどの適当な溶媒中、0℃~200℃の温 5 度条件下で光延反応及びその類似反応により行われる。

その他の反応については合成法(A)と同様に行なうことができる。 本発明のチオベンズイミダゾール誘導体 (1) において、Eがテ トラゾール、mが0である場合においては、以下に示す合成法 (E) により製造することができる。

### 合成法 (E)

25

[式中R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、A、G、JおよびXは前記に同じである。]

ニトリル体(e1)を種々のアジ化合物と反応させてテトラゾール体 15 (e2)に変換する。

アジ化合物としてはトリメチルスズアジド等のトリアルキルスズ アジド化合物、アジ化水素酸またはそのアンモニウム塩などが挙げ られる。有機スズアジド化合物を用いるときは化合物 (e1) に対し 20 て1~4倍モル量程度用いるのがよい。またアジ化水素酸またはそ のアンモニウム塩を用いるときはアジ化ナトリウムと塩化アンモニ ウムまたはトリエチルアミン等の3級アミンを化合物 (e1) に対し て1~5倍モル量程度用いるのがよい。各反応は0℃~200℃の温度 で、トルエン、ベンゼン、DMF等の溶媒を用いることにより行われ る。

本発明のチオベンズイミダゾール誘導体 (1) において、mが1 または2の場合は以下に示す合成法 (F) により製造することができる。

合成法 (F)

5

[式中、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、A、G、JおよびXは前記に同じ。]

すなわち、チオベンズイミダゾール化合物(a7)を過酸化化合物 10 と適当な溶媒中で反応させることによりスルホキシド誘導体(f1) および/またはスルホン誘導体(f2)が得られる。用いられる過酸 化化合物としては例えば過安息香酸、m-クロロ過安息香酸、過酢 酸、過酸化水素等が挙げられ、用いられる溶媒としては例えばクロロホルム、ジクロロメタン等が挙げられる。化合物(a7)と過酸化 15 化合物との使用割合としては、特に限定が無く広い範囲で適宜選択 すればよいが、一般的に1.2倍モル~5倍モル量程度用いることが好ましい。各反応は通常0~50℃程度、好ましくは0℃~室温で行われ、 一般的に4~20時間程度で終了する。

本発明のベンズイミダゾール誘導体は必要に応じて医学上許容さ
20 れる非毒性のカチオン塩に変換することができる。かかる塩としては、Na<sup>+</sup>、K<sup>+</sup> 等のアルカリ金属イオン; Mg<sup>2+</sup>、Ca<sup>2+</sup> 等のアルカリ土 類金属イオン; Al<sup>3+</sup>、Zn<sup>2+</sup> 等の金属イオン; あるいはアンモニア、トリエチルアミン、エチレンジアミン、プロパンジアミン、ピロリジン、ピペリジン、ピペラジン、ピリジン、リシン (Lysine)、コ25 リン、エタノールアミン、N, N-ジメチルエタノールアミン、4ヒドロキシピペリジン、グルコサミン、N-メチルグルカミン等の有機塩基が挙げられる。なかでも、Na<sup>+</sup>、Ca<sup>2+</sup>、リシン (Lysine)、コリン、N, N-ジメチルエタノールアミン、N-メチルグルカミンが好ましい。

本発明のベンズイミダゾール誘導体は、ヒトキマーゼ活性を阻害する。具体的には、IC50が1000以下、好ましくは0.01以上1000未満、更に好ましくは0.05以上500未満である。このような優れたヒトキマーゼ阻害活性を有する本発明のベンズイミダゾール誘導体は、種々の疾患に対する臨床応用可能な予防剤および/または治療剤と0 して使用することが可能である。

本発明のベンズイミダゾール誘導体は、製薬学的に許容される担体とともに医薬組成物として、該医薬組成物を種々の剤型に成型して経口あるいは非経口によって投与することができる。非経口投与としては、例えば、静脈、皮下、筋肉、経皮、直腸、経鼻、点眼内15 への投与が挙げられる。

該医薬組成物の剤型としては、以下のようなものが挙げられる。 例えば、経口投与剤の場合は、錠剤、丸剤、顆粒剤、散剤、液剤、 懸濁剤、シロップ剤、カプセル剤等の剤型が挙げられる。

ここで、錠剤の成型方法としては、賦形剤、結合剤、崩壊剤等の 20 製薬学的に許容される担体を用いて通常の方法により成型すること ができる。丸剤、顆粒剤、散剤も錠剤の場合と同様に賦形剤等を用 いて通常の方法により成型することができる。液剤、懸濁剤、シロ ップ剤の成型方法は、グリセリンエステル類、アルコール類、水、 植物油等を用いて通常の方法により成型することができる。カプセ ル剤の成型方法は、類粒剤、散剤、あるいは液剤等を、ゼラチン等 のカプセルに充填することによって成型することができる。

非経口投与剤のうち、静脈、皮下、筋肉内投与の場合には、注射

剤として投与することができる。注射剤としては、安息香酸誘導体を、例えば生理食塩水など水溶性液剤の溶解する場合、あるいは、例えばプロピレングリコール、ポリエチレングリコール、植物油等の有機エステルからなる非水溶性液剤に溶解する場合等が挙げられる。

経皮投与の場合には、例えば軟膏剤、クリーム剤などの剤型として用いることができる。軟膏剤は、安息香酸誘導体を油脂類、ワセリン等と混合して用いて、クリーム剤は安息香酸誘導体を乳化剤と混合して成型することができる。

10 直腸投与の場合には、ゼラチンソフトカプセルなどを用いて坐剤 とすることができる。

経鼻投与の場合には、液状または粉末状の組成物からなる製剤として用いることができる。液状剤の基剤としては、水、食塩水、リン酸緩衝液、酢酸緩衝液等が用いられ、更に、界面活性剤、酸化防止剤、安定剤、保存剤、粘性付与剤を含んでいてもよい。粉末状剤の基剤としては、例えば、水易溶性のポリアクリル酸塩類、セルロース低級アルキルエーテル類、ポリエチレングリコールポリビニルピロリドン、アミロース、プルラン等の水吸収性のもの、あるいは、例えば、セルロース類、澱粉類、タンパク類、ガム類、架橋ビニルのえば、セルロース類、澱粉類、タンパク類、ガム類、架橋ビニルのまた、これらを混合して用いてもよい。さらに粉末状剤には、酸化防止剤、着色剤、保存剤、防腐剤、矯腐剤等を添加してもよい。かかる液状剤、粉末状剤は、例えばスプレー器具等を用いて投与することができる。

25 点眼内投与の場合は、水性あるいは非水性の点眼剤として使用することができる。水性点眼剤としては、溶剤に滅菌精製水、生理食塩水等を用いることができる。溶剤として滅菌精製水のみを用いた

場合、界面活性剤、高分子増粘剤等の懸濁剤を加えて水性懸濁点眼液として用いることができ、また、非イオン性界面活性剤等の可溶化剤を加えて可溶化点眼液として用いることもできる。非水性点眼剤としては、溶剤に注射用非水性溶剤を用いることができ、非水性5 懸濁点眼液として用いることができる。

点眼剤以外の方法で眼に投与する場合としては、眼軟膏剤、塗布液剤、散布剤、インサート剤等の剤型とすることができる。

また、鼻、口等から吸入する場合においては、本発明のベンズイミダゾール誘導体と一般的に用いられる製薬賦形剤との溶液または10 懸濁液として、例えば、吸入用エアゾルスプレー等を用いて吸入される。また、乾燥粉末状とした本発明のベンズイミダゾール誘導体を、肺と直接接触させる吸入器等を用いて投与することができる。

これら種々の製剤には、必要に応じて、等張化剤、保存剤、防腐剤、湿潤剤、緩衝剤、乳化剤、分散剤、安定剤等の製薬学的の許容15 される担体を添加することができる。

また、これら種々の製剤には、必要に応じて、殺菌剤の配合、バクテリア保留フィルターを用いた濾過、加熱、照射等の処置を行い無菌化することができる。あるいは、無菌の固形製剤を製造し、使用直前に適当な無菌溶液に溶解あるいは懸濁して使用することもできる。

本発明のベンズイミダゾール誘導体の投与量は、疾患の種類、投与経路、患者の症状、年齢、性別、体重等により異なるが、一般的に、経口投与では1~500mg/日/人程度であり、好ましくは10~300mg/日/人である。静脈、皮下、筋肉、経皮、直腸、経鼻、点眼、吸入などの非経口的投与では、0.1~100mg/日/人程度であり、好ましくは0.3~30mg/日/人である。

また、本発明のベンズイミダゾール誘導体を予防剤として用いる

場合には、各症状に応じて、予め公知の方法に従い投与することができる。

本発明の予防剤および/または治療剤の対象疾患としては、気管支喘息等の呼吸器疾患、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、蕁 麻疹等の炎症/アレルギー疾患;硬化性血管病変、血管内狭窄、末梢循環障害、腎不全、心不全等の循環器疾患;リウマチ、変形性関節症等の骨/軟骨代謝疾患が挙げられる。

## 実施例

10 本発明を以下に製造例、実施例及び試験例によって具体的に説明 する。しかし、本発明の範囲がこれらの実施例によっていかなる意 味においても制限されるものではない。

# [参考例1]

#### 5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-チオールの製造

15 5,6-ジメチルオルトフェニレンジアミン 4.5 g(33 mmol)のピリジン溶液(40 ml)に二硫化炭素 40 ml(0.66 mol)を添加した。得られた溶液を加熱還流下 18時間攪拌した後、水を加え酢酸エチルで抽出した。酢酸エチル相を無水硫酸マグネシウムで乾燥した後、濃縮し、減圧下80℃にて6時間乾燥させ表題化合物を4.1 g得た。(収20 率 70%)

#### [参考例2]

2-((5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステルの製造

得られた5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-チオール89

25 mg(0.50 mmol)のジメチルホルムアミド(2 ml)溶液にトリエチルア ミン84 μ1(0.6 mmol)及び2-プロモメチル安息香酸メチルエステル 137 mg(0.6 mmol)を添加した。得られた溶液を80℃で1.5時間攪拌 した後、水を加え酢酸エチルで抽出した。酢酸エチル相を無水硫酸マグネシウムで乾燥した後、濃縮し残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 3:1)で精製し、表題化合物を146 mg得た。(収率 90%) 化合物の確認はLC-MSを用いて分子量 から同定を行った。

計算值M=326.11 実測值(M+H)\*=327.2

[参考例3]

参考例2と同様の方法により、下記化合物を合成した。化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

10 <u>3-((5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)ピリジ</u> ン-2-カルボン酸エチルエステル

計算值 M=341.12 実測値 (M+H) \*=342.2

<u>2-((5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)フラン-</u> <u>3-カルボン酸メチルエステル</u>

15 計算值M=316.09 実測値(M+H)+=317.2

3-((5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)チオフェン-2-カルボン酸メチルエステル

計算值 M=332.07 実測値 (M+H) \*=333.2

2-(ベンズイミダゾール-2-イルチオメチル)安息香酸メチルエステ

20 ル

計算值 M=298.08 実測値 (M+H) +=299.2

<u>3-(ベンズイミダゾール-2-イルチオメチル)ピリジン-2-カルボン酸</u> エチルエステル

計算值M=313.09 実測値(M+H)+=314.2

25 <u>3-(ベンズイミダゾール-2-イルチオメチル)チオフェン-2-カルボン</u> 酸メ<u>チルエステル</u>

計算值M=304.03 実測値(M+H)+=305.2

2-(ベンズイミダゾール-2-イルチオメチル)フラン-3-カルボン酸メ チルエステル

計算值M=288.06 実測値(M+H)+=289.2

4-ベンズイミダールー2-イルチオブタン酸メチルエステル

5 計算値M=264.09 実測値(M+H) +=265.2

2-((5,6-ジクロロベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)-5-クロロ安息香酸メチルエステル

計算值 M=399.96 実測値 (M+H) \*=401.2

2-(ベンズイミダゾール-2-イルチオメチル)-5-クロロ安息香酸メチ

10 ルエステル

計算值M=332.04 実測値(M+H)+=333.2

<u>4-(5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-イルチオ) ブタン酸エチルエステル</u>

計算値M=292.12 実測値(M+H)+=293.40

15 2-((5,6-ジクロロベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)-安息香酸メチルエステル

計算值M=366.00 実測値(M+H)+=367.0

2-((5,6-ジクロロベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)ピリジン-3-カルボン酸メチルエステル

20 計算值M=366.99 実測値(M+H)+=368.0

「実施例1]

化合物 No. 143の 製造

あらかじめ乾燥した反応容器に水素化ナトリウム 11 mg(0.306 mmol)、テトラヒドロフラン 2 mlを加えた。参考例2で得られた2-

25 ((5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸 メチルエステル 50 mg(0.153 mmol) 及び1-クロロメチルナフタレ ン69 μ1(0.459 mmol)を加え、60℃で45分間攪拌した。水を加え酢 酸エチルで抽出した。酢酸エチル相を無水硫酸ナトリウムで乾燥した後、濃縮し残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 4:1)で精製し、2~((5,6-ジメチル-1-(1-ナフチルメチル)ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエ5 ステルを得た。(収率 32%)

得られた2-((5,6-ジメチル-1-(1-ナフチルメチル)ベンズイミダ ゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステル23 mg(0.08 mmol)のテトラヒドロフラン(1 ml)、メタノール(0.5 ml)溶液に4規 定水酸化リチウム水溶液(0.25 ml)を加えた。室温で5時間攪拌した 10 後、6規定塩酸水溶液を加えて反応を停止し、酢酸エチルで抽出し た。酢酸エチル相を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸ナトリウムで乾 燥した。溶媒を減圧留去し、表題化合物を24 mg得た。(収率 定量 的)

化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

15 計算值M=452.16 実測値(M+H)\*=453.2

# [実施例2]

実施例1と同様の方法により、参考例2または3に示した化合物および種々のハライド誘導体を用いて、表41~表45の化合物を合成した。化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

表41

//₄ ♠ fr/m No		#381# (MT) †	du ch ( ∧ ⟨¬ du ) · o
化合物 No.	計算値 M 	実測値 (M+H) <sup>†</sup>	
390	406. 14	407. 2	29
391	422. 11	423. 2	16
315	417. 15	418. 2	32
376	406. 14	407. 2	25
333	417. 15	418. 2	6
82	416. 16	417. 2	12
83	416. 16	417. 2	9
84	416. 16	417. 2	33
97	432. 15	433. 2	18
98	432. 15	433. 2	26
99	432. 15	433. 2	8 .
94	470. 13	471. 2	14
95	470. 13	471. 2	10
96	470. 13	471. 2	13
100	486. 12	487. 2	26
101	486. 12	487. 2	8
85	420. 13	421. 2	9
. 86	420. 13	421. 0	12
87 ·	420. 13	421. 2	44
88	436. 10	437. 2	42
89	436. 10	437. 2	40
90	436. 10	437. 2	28
91	480. 07	481. 0	12
103	427. 14	428. 2	12
104	427. 14	428. 2	6.
105	427. 14	428. 2	11
784	434. 11	435. 2	36

表42

化合物 No.	計算値 M	実測値 (M+H) <sup>+</sup>	収率(全行程) %
787	468. 07	469. 2	31
112	418. 14	419. 2	40
141	480. 12	481. 0	72
138	494. 17	495. 2	34
135	446. 13	447. 2	19
137	478. 17	479. 2	6
143	452. 16	453. 2	35
142	452. 16	453. 0	30
139	428. 16	429. 4	22
140	458. 20	459. 2	. 5
63	424. 12	425. 2	25
311	453. 15	454. 5	21
115	430. 17	431. 5	68
116	430. 17	431. 5	52
117	430. 17	431. 5	41
118	430. 17	431. 5	56
125	462. 16	463. 0	59
126	462. 16	463. 0	25
128	492. 17	493. 0	27
134	446. 13	447. 0	34
108	446. 17	447. 0	75
107	446. 17	447. 0	57
119	470. 06	471. 0	36
120	470. 06	471. 0	57
121	470. 06	471. 0	60
. 122	470: 06	471. 0	37 .
123	430. 17	431. 3	57
<del></del>			

PCT/JP99/03799

化合物 No.	計算値 M	実測値(M+H) <sup>†</sup>	収率(全行程)%
124	462. 16	463. 3	67
127	462. 16	463. 3	62
129	446. 17	447. 3	47
130	446. 17	447. 3	40
319	425. 12	426. 3	30
506	466. 17	467. 2	16
505	466. 17	467. 0	14
93	480. 07	481. 0	45
136	478. 17	479. 2	60
37	402. 14	403. 4	25
39	442. 03	443. 0	51 .
317	403. 14	404. 0	56
318	443. 03	444. 0	46
380	442. 14	443. 2	51
377	420. 15	421. 2	34
378	460. 04	461. 0	30
386	414. 10	415. 2	37
383	392. 12	393. 2	30
384	432. 01	433. 0	29
395	458. 11	459. 2	23
392	436. 13	437. 2	15
393	476. 02	477. 0	15
401 .	430. 08	431. 2	50
398	408. 10	409. 2	20
399	447. 99	449. 0	7 .

表44

化合物 No.	計算値 M	実測値 (M+H) <sup>†</sup>	収率(全行程)%
544	476. 18	377. 2	62
50	418. 14	419. 2	42
459	382. 08	383. 2	65
402	436. 04	437. 2	. 50
1	388. 12	389. 0	38
161	456. 05	457. 0	54
81	402. 14	403. 3	57
154	444. 13	445. 0	32
160	408. 10	409. 0	72
159	421. 15	422. 2	. 84
148	482. 17	483. 5	64
149	453. 15	454. 5	71
155	459. 11	460. 0	64
150	453. 15	454. 2	36
151	487. 11	488. 1	62
153	460. 10	461. 0	69
152	454. 15	455. 0	62
64	430. 08	431. 2	85
455	410. 11	411. 2	17
596	430. 14	431. 2	56
539	418. 17	419. 2	20
349	436. 10	437. 1	50
352	458. 09	459. 2	74
168	470. 06	471. 1	57
355	504. 02	505. 0	26
174	492. 05	493. 0	89
358	526. 01	527. 1	38
		<del></del>	

表45

化合物 No.	計算値 M	実測値(M+H) <sup>†</sup>	収率(全行程) %
324	493. 04	494. 2	32
320	431. 08	432. 1	15
147	466. 17	467. 2	72
616	490. 16	491. 2	22
805	382. 17	383. 2	52
804	368. 16	369. 2	56
66	438. 14	440. 2	54
592	430. 14	432. 3	5
811	380. 16	382. 2	72
582	436. 06	437. 1	59
580	436. 06	437. 1	59
584	480. 03	483. 1	37
583.	480. 03	483. 0	52
578	420. 09	421. 2	30
574	416. 12	417. 2	39
595	452. 12	453. 2	22
594	478. 14	479. 1	23
588	432. 11	433. 1	65
587	432. 11	433. 2	48
586	432. 11	433. 1	50
590	427. 10	428. 2	24
589	427. 10	428. 3	17

# [ 実施例3]

# 化合物 No. 547の製造

5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-チオール 236 mg(1.32 mmol)のジメチルホルムアミド 2 ml溶液にトリエチルアミン276 μ 5 1(1.98 mmol)及び2-(プロモエチル) 安息香酸 t ープチルエステル 538 mg(1.99 mmol)を加えて、80℃で3時間攪拌した。反応終了後、水を加え酢酸エチルで抽出した。酢酸エチル相を無水硫酸ナトリウムで乾燥した後、濃縮し残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 3:1)で精製し、2-((5,6-ジメチル ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸 t-ブチルエステルを288 mg得た。(収率 59%)

2-((5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息 香酸 t-ブチルエステル 30mg (0.082 mmol)をクロロホルム 3mlに溶解し、トリエチルアミン 17μl (0.123 mmol) 、ベンゾイルクロ15 リド14μl (0.123 mmol) を順に加えて室温で2時間攪拌した。反応終了後、水を加えて酢酸エチルで抽出した。無水硫酸ナトリウムで乾燥後、濃縮し、2-((5,6-ジメチル-1-(フェニルカルボニル)ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸 t-ブチルエステルを38mg得た。(収率 定量的)

- 20 2-((5,6-ジメチル-1-(フェニルカルボニル)ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸 t-ブチルエステルをジクロロメタン 1mlに溶解し、トリフルオロ酢酸 1mlを加えて6時間室温で攪拌した。 反応終了後、溶媒留去し減圧下、終夜乾燥し、表題化合物を33 mg 得た。(収率 定量的)
- 25 化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。 計算値 M=416.12 実測値 (M+H)+=417.0

# [ 実施例4]

## 化合物 No. 561の製造

実施例3と同様の方法により、表題化合物を得た。

化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

5 計算値M=452.09 測定値(M+H)\*=453.2

### [参考例4]

3-(ナフチルメチル)イミダゾロ (5,4-b) ピリジン-2-チオールの製 造

2-アミノ3-ニトロピリジン 1680 mg(12 mmol)のジメチルホルム
10 アミド(20 ml)溶液に水素化ナトリウム 75 mg(0.55 mmol)及び1-クロロメチルナフタレン 74 μl(0.55 mmol)を添加した。得られた溶液を80℃で17時間攪拌した後、水を加えエチルエーテルで抽出した。エチルエーテル相を無水硫酸マグネシウムで乾燥した後、濃縮し残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル=15 4:1)で精製し、ナフチルメチル(3-ニトロ(2-ピリジル))アミンを903 mg得た。(収率 27%)

得られたナフチルメチル (3-ニトロ(2-ピリジル))アミン 900 mg(3.2 mmol)のエタノール(40 ml)溶液に、10% Pd-C 90.0 mgを添加した。得られた溶液を水素雰囲気下にて50℃で8時間攪拌した後、

- 20 セライト濾過しPd-Cを取り除いた。得られた溶液を濃縮し(3-アミノ(2-ピリジル))ナフチルメチルアミンを860 mg得た。(収率 99%)得られた(3-アミノ(2-ピリジル))ナフチルメチルアミン 860 mg(3.2 mmol)のエタノール溶液(20 ml)に二硫化炭素 6.1 ml(102 mmol)を添加した。得られた溶液を加熱還流下12時間攪拌した後、
- 25 室温にて5時間静置した。析出した沈殿を濾取し、エタノール (5 m1)にて3回洗浄した。減圧下80℃にて5時間乾燥させ表題化合物を555 mg得た。

(収率 56%)

化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

計算值 M=291.08 実測値 (M+H) +=292.3

「参考例5]

5 <u>3-((2,5-ジメチルフェニル)メチル)イミダゾロ (5,4-b) ピリジン-</u> 2-チオールの製造

参考例4と同様の方法により、表題化合物を合成した。 化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。 計算値M=269.10 実測値(M+H)<sup>+</sup>=270.2

10 [実施例5]

70%)

# 化合物 No. 256の製造

参考例2と同様の方法により、参考例4で得られた3-(ナフチルメチル)イミダゾロ(5,4-b)ピリジン-2-チオール 30 mg(0.1 mmol)を用いて2-((3-(ナフチルメチル)イミダゾロ(5,4-b))ピリジン-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステルを30 mg得た。 (収率

得られた2-((3-(ナフチルメチル)イミダゾロ(5,4-b)ピリジン-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステル 30 mg(0.068 mmol)を実施例1と同様の方法により加水分解反応を行い、表題化合物を18.3 mg 20 得た。(収率 66%)

化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。 計算値M=425.12 実測値(M+H)\*=426.1

#### 「実施例6]

実施例5と同様の方法により、参考例4および5で得られた化合物 25 および種々のハライドエステル誘導体を用いて、表46の化合物を合成した。

化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

表46

計算値 M	実測値 (M+H) <sup>†</sup>	収率(全行程) %
403. 14	407. 2	67
404. 13	423. 2	46
426. 12	418. 2	58
437. 10	438. 0	52
459. 08	460. 0	66
	403. 14 404. 13 426. 12 437. 10	403. 14       407. 2         404. 13       423. 2         426. 12       418. 2         437. 10       438. 0

# 表47

化合物 No.	計算値 M	実測値(M+H) <sup>†</sup>	収率(全行程) %
321	428. 13	429. 2	27
354	461. 10	462. 2	20
460	379. 14	380. 2	. 19

# 表48

化合物 No.	計算値 M	実測値(M+H) <sup>†</sup>	収率(全行程) %
52	493. 15	494. 2	12
53	493. 15	494. 2	11

# [実施例7]

### 化合物 No. 264の製造

4-メチル-2-ニトロアニリン 913 mg (6 mmol)をアセトニトリル (18 ml)に溶解させ、無水トリフルオロ酢酸 1.00 ml (7.2 mmol)を 加えて、1.5時間還流した。室温まで冷却後、減圧濃縮、乾燥させて、4-メチル-2-ニトロ-トリフルオロアセトアニリト 1.396gを得た。 (収率 94%)

4-メチル-2-ニトロ-トリフルオロアセトアニリト 1.396 g(5.63 mmol)をジメチルホルムアミド(14ml)に溶解させ、炭酸カリウム

- 10 940 mg(6.80 mmol)、1-クロロメチルナフタレン 1.15 g(6.51 mmol)を室温下で順に加え、100℃で加熱した。1時間40分後、5規定水酸化ナトリウム水溶液(7.5 ml)を加えて、15分間そのまま還流した。15分後、室温まで冷却し、水(180 ml)を加えて4℃で一晩保存した。生じた結晶をろ別し、乾燥させて、((1-ナフチル)メチ
- 15 ル)(4-メチル-2-ニトロ-フェニル)アミン 1.587 gを得た。 (収率 96%)

(1-ナフチル)メチル)(4-メチル-2-ニトロ-フェニル)アミン
1.0021 g(3.43 mmol)にエタノール(5ml)、1,4-ジオキサン(5ml)を加え、さらに2.058 M水酸化ナトリウム水溶液(1 ml)を加えて、油20 浴で還流した。15分後、オイルバスから外し、亜鉛粉末 897 mg(13.72 mmol)を分割投入した。その後再び油浴にて2時間還流した。2時間後、減圧濃縮し、酢酸エチル(50 ml)に溶かし、飽和食塩水(25 ml)で2回洗浄した。硫酸マグネシウムで乾燥後、減圧濃縮乾燥させ、褐色オイル状の((1-ナフチル)メチル)(2-アミノ-4-メチ25 ル-フェニル)アミン 943.1 mgを得た。

引き続き、((1-ナフチル)メチル)(2-アミノ-4-メチル-フェニル)アミン 943.1 mg(3.59 mmol)をエタノール(6.4 ml)に溶かし、

二硫化炭素 7ml(116mmol)を加えて、還流した。10時間後、室温に戻し、減圧濃縮し、残渣にエタノール (2 ml)を加えて室温で30分間攪拌、さらに氷冷下で30分攪拌した。生じた結晶をろ別、乾燥して、1-((1-ナフチル)メチル) -6-メチル-ベンズイミダゾール-2-チ オールを 459.1 mg得た。 (収率 44% 2steps)

1-((1-ナフチル)メチル) -6-メチル-ベンズイミダゾール-2-チオール 431.1 mg(1.42 mmo1)をジメチルホルムアミド(12 ml)に溶かし、トリエチルアミン 0.296 ml(2.12 mmo1)、2-プロモメチル安息香酸メチルエステル 390.1 mg(1.70 mmo1)を加え、80℃で加熱した。
10 5時間50分後、さらにトリエチルアミン 0.296 ml(2.12 mmo1)、2-

0 5時間50分後、さらにドウエッルノミン 0.296 m1(2.12 mmo1)、2-ブロモメチル安息香酸メチルエステル 325 mg(1.42 mmo1)を加え、 1時間10分加熱した。この後、滅圧濃縮し、酢酸エチル(80 ml)に溶 かし、水(30 ml)で2回洗浄し、硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒 を滅圧濃縮し、残渣から酢酸エチルーヘキサンで結晶化させて410

15 mg、また母液をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:
酢酸エチル = 6:1)で精製し、結晶と同じ画分を回収し87 mg、合計497 mgの2-((1-((1-ナフチル)メチル) -6-メチル-ベンズイミ
ダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステルを得た。
(収率 78%)

20 2- ((1-((1-ナフチル)メチル) -6-メチル-ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル) 安息香酸メチルエステル 497 mg(1.098 mmol) をメタノール(10 ml)、テトラヒドロフラン(10 ml)に溶かして4規 定水酸化リチウム水溶液(6.86 ml)を加えた。更にメタノール(10 ml)、テトラヒドロフラン(10 ml)を加えた。室温で2時間30分攪拌 した後、飽和クエン酸水溶液を(10 ml)加えて反応を停止、減圧濃縮して溶媒量を1/3程度まで減らし、酢酸エチル(80 ml)に溶かして、水 (20 ml)で5回洗浄した。有機層を減圧濃縮し、残渣にアセトニ

トリル(10 ml)を加えて溶解させ、再度濃縮、生じた結晶をろ別、 乾燥させ、表題化合物を439.1 mg得た。(収率 91%)

化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

計算值 M=438.14 測定值 (M+H) \*=439.3

### 5 [実施例8]

### 化合物 No. 272の 製造

実施例7と同様の方法により、表題化合物を得た。 化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。 計算値M=454.14 測定値(M+H)\*=455.3

### 10 [実施例9]

# 化合物 No. 65の製造

ボキサルデヒド 1242 mg (7.8 mmol)をテトラヒドロフラン20 mlに溶解し、酢酸200 μl、NaBH(0Ac)。5087 mg (24 mmol)を順に加え 15 て室温で終夜攪拌した。飽和炭酸水素ナトリウム水溶液を加え、酢酸エチルで抽出し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を留去した。シリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 95:5)で精製し、((1-メチルインドール-3-イル)メチル)(2-ニトロフェニル)アミンを264 mg得た。 (収率 18%)

2-ニトロアニリン 829 mg (6 mmol)と1-メチルインドールカル

20 ((1-メチルインドール-3-イル)メチル)(2-アミノフェニル)アミン 264 mg (0.939 mmol)をエタノール(10 ml)に溶解し、Pd-C 50 mg (10%Pd, 0.047 mmol)を加えて水素雰囲気下、室温で6時間攪拌した。反応終了後、Pd-Cをろ別し溶媒を留去し、((1-メチルインドール-3-イル)メチル)(2-アミノフェニル)アミンを212 mg得た。

# 25 (収率90%)

((1-メチルインドール-3-イル)メチル)(2-アミノフェニル)アミン 212 mg (0.845 mmol)をピリジン(1 ml)に溶解し、二硫化炭素1

ml(16.9 mmol)を加えて、窒素雰囲気下、1時間還流した。溶媒を留去し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル= 2:1)で精製し、1-((1-メチルインドール-3-イル) メチル)ベンズイミダゾール-2-チオールを96 mg得た。 (収率 39%)

- 5 あらかじめ乾燥した反応容器に水素化ナトリウム 12 mg(0.342 mmol)、ジメチルホルムアミド(2 ml)を加えた。1-((1-メチルインドール-3-イル) メチル)ベンズイミダゾール-2-チオール 50 mg(0.171 mmol) 及び2-プロモメチル安息香酸メチルエステル 59 mg(0.257 mmol)を加え、60℃で1時間攪拌した。水を加え酢酸エチ10 ルで抽出した。酢酸エチル相を無水硫酸ナトリウムで乾燥した後、濃縮し残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 2:1)で精製し、2-((1-((1-メチルインドール-3-イル)メチル)ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステル 54 mgを得た。(収率 74%)
- 15 2-((1-((1-メチルインドール-3-イル) メチル)ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステル 54 mg (0.122 mmol) のテトラヒドロフラン(2 ml)、メタノール(1 ml)溶液に4規定水酸化リチウム水溶液(0.5 ml)を加えた。室温で一晩攪拌した後、6規定塩酸水溶液を加えて反応を停止し、酢酸エチルで抽出した。
- 20 酢酸エチル相を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸ナトリウムで乾燥した。溶媒を減圧留去し、表題化合物を48 mg得た。(収率 92%) 化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。 計算値M=427.14 実測値(M+H)\*=428.2

#### 「実施例10]

25 実施例9と同様の方法により、種々のハライドエステル誘導体を 用いて、前記表47の化合物を合成した。化合物の確認はLC-MSを用 いて分子量から同定を行った。

### [実施例11]

## 化合物 No. 51の製造

あらかじめ乾燥した反応容器に水素化ナトリウム 104 mg(2.86 mmol)、テトラヒドロフラン 16 mlを加えた。2-(ベンズイミダゾー5 ル-2-イルチオメチル)安息香酸メチルエステル 428 mg(1.43 mmol)及び2-(ブロモエチル)安息香酸 t - ブチルエステル 466 mg(3.46 mmol)を加え、60℃で50分間攪拌した。水を加え酢酸エチルで抽出した。酢酸エチル相を無水硫酸ナトリウムで乾燥した後、濃縮し残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸10 エチル = 3:1)で精製し、2-((1-((2-((t-ブチル)オキシカルボニル)フェニル)メチル)ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステル495 mgを得た。(収率 71%)

2-((1-((2-((t-ブチル)オキシカルボニル)フェニル)メチル)ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステル 248 mg(0.51 mmol)に4規定塩酸ジオキサン溶液 1.28 ml(5.1 mmol)を加えて室温で一晩攪拌した。溶媒留去した後、減圧下で乾燥し、2-((2-((2-(メトキシカルボニル)フェニル)メチルチオ)ベンズイミダゾリル)メチル)安息香酸を220 mg得た。(収率 定量的)

2-((2-((2-(メトキシカルボニル)フェニル)メチルチオ)ベンズイ
20 ミダゾリル) メチル)安息香酸 180 mg(0.42 mmol)をクロロホルム
(6 ml)に溶解し、順にHOBT 68 mg (0.504 mmol)、アニリン46μl
(0.504 mmol)、tープタノール(1.2 ml) とEDCI 97 mg (0.504 mmol)を加えて室温で一晩攪拌した。水を加えてジクロロメタンで抽出し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後ろ別し、溶媒を留去した。シ
25 リカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 3:2)
により精製し、2-((1-((2-(N-フェニルカルバモイル)フェニル)メチルチオ)ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチ

ルエステルを86 mg得た。(収率 40%)

得られた2-((1-((2-(N-フェニルカルバモイル)フェニル)メチルチオ)ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステル 86 mg(0.169 mmol)のテトラヒドロフラン(2 ml)、メタノー5 ル(1 ml)溶液に4規定水酸化リチウム水溶液(0.5 ml)を加えた。60度でおよそ2時間攪拌した後、6規定塩酸水溶液を加えて反応を停止し、酢酸エチルで抽出した。酢酸エチル相を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸ナトリウムで乾燥した。溶媒を減圧留去し、表題化合物を83 mg得た。(収率 定量的)

10 化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。 計算値M = 493.15 実測値(M+H)<sup>+</sup> = 494.2

### [実施例12]

実施例11と同様の方法により、種々の安息香酸エステル誘導体を 用いて、前記表48に示す化合物を得た。

15 化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

### [実施例13]

#### 化合物 No. 619の製造

あらかじめ乾燥した反応容器に水素化ナトリウム 400 mg(10.0 mmol)、ジメチルホルムアミド(30 ml)を加えた。2-(ベンズイミダ20 ゾール-2-イルチオメチル)安息香酸メチルエステル 1500 mg(5.0 mmol) 及びプロモ酢酸 t - ブチルエステル 1463 mg(7.5 mmol)を加え、80℃で2時間攪拌した。水を加えエーテルで抽出した。エーテル相を無水硫酸ナトリウムで乾燥した後、濃縮し残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 5:1)で精製し、25 2-(2-((2-(メトキシカルボニル)フェニル)メチルチオ)ベンズイミダゾリル)酢酸 t-ブチルエステルを1298 mgを得た。(収率 63%)2-(2-((2-(メトキシカルボニル)フェニル)メチルチオ)ベンズイ

ミダゾリル)酢酸 t-ブチルエステル 1290 mg(3.13 mmol)にトリフル オロ酢酸(15 ml)を加えて室温で終夜攪拌した。溶媒留去した後、減圧下で乾燥し、2-(2-((2-(メトキシカルボニル)フェニル)メチルチオ)ベンズイミダゾリル)酢酸を715 mg得た。(収率 64%)

5 2-(2-((2-(メトキシカルボニル)フェニル)メチルチオ)ベンズイミダゾリル)酢酸 35 mg(0.1 mmol)をテトラヒドロフラン(3 ml)に溶解し、アニリン 11.2 mg(0.12 mmol)、EDCI 23 mg (0.12 mmol)を加えて室温で終夜攪拌した。水を加えて酢酸エチルで抽出し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後ろ別し、溶媒を留去した。シリカゲルカ ラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 3:2)により精製し、2-((1-((N-フェニルカルバモイル)メチル)ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステルを27.5 mg得た。(収率 64%)

得られた2-((1-((N-フェニルカルバモイル)メチル)ベンズイミダ 15 ゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステル 20 mg(0.046 mmol)を実施例1と同様に加水分解を行い表題化合物を6.9 mg得た。 (収率 36%)

化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。 計算値M=417.11 実測値(M+H)+=418.0

### 20 [実施例14]

実施例13と同様の方法により、種々のアニリン誘導体を用いて、 表49に示す化合物を得た。

化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

表49

計算値 M	実測値(M+H) <sup>†</sup>	収率(全行程) %
431. 13	432. 3	5
431. 13	432. 3	5
431. 13	432. 3	21
447. 13	448. 2	13
447. 13	448. 1	23
447. 13	448. 3	44
442. 11	443. 2	27
467. 13	468. 1	19
	431. 13 431. 13 431. 13 447. 13 447. 13 447. 13 442. 11	431. 13       432. 3         431. 13       432. 3         431. 13       432. 3         447. 13       448. 2         447. 13       448. 1         447. 13       448. 3         442. 11       443. 2

# 表50

化合物 No.	計算値 M	実測値 (M+H) †	収率(全行程) %
765	457. 15	458. 2	5
767	457. 15	458. 2	32

# 表51

化合物 No.	計算値 M	実測値 (M+H) <sup>+</sup>	収率(全行程)%
866	434. 13	435. 2	76
869	456. 11	457. 3	83
904	468. 09	469. 1	52
937	436. 15	437. 2	61

# 表52

化合物 No.	計算値 M	実測値(M+H) <sup>†</sup>	収率(全行程) %
953	476. 18	477. 2	36
985	428. 18	429. 2	. 67
977	400. 15	401. 4	2

## [参考例6]

2-((1-(2-ヒドロキシエチル)-5,6-ジメチルベンソイミダゾール-2-イルチオ)]メチル)安息香酸メチルエステルの製造

参考例2で得られた2-((5,6-ジメチルベンズイミダゾールー2ー イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステル 326 mg(1 mmol)のジメチルホルムアミド溶液に、炭酸カリウム 207 mg (1.5 mmol)と2ープロモエタノール 150 mg (1.2 mmol)を添加し、80度で加熱しながら12時間攪拌した。反応終了後、エーテルで抽出し、溶媒を留去した。フラッシュカラムクロマトグラフィー (ヘキサン:酢酸エチル

化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。 計算値M=370.14 実測値(M+H)\*=371.2

10 = 4:1) で精製し表題化合物を248 mg得た。(収率 67%)

[実施例15]

### 化合物 No. 736の製造

参考例6で得られた2-((1-(2-ヒドロキシエチル)-5,6-ジメチルベンゾイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステル 45 mg (0.12 mmol)のN-メチルモルホリン (3 ml) 溶液に、Pph,62 mg (0.24 mmol)、DEAD 10.6 ml (40% in toluene、0.24 mmol)を加えて、室温で攪拌した。10分後、フェノール 11.3 mg (0.12 mmol)を 加えて、室温で12時間攪拌した。溶媒を留去し、薄層クロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 1:1)により精製し2-((5,6-ジメチル-1-(2-フェノキシエチル)ベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステルを44 mg得た。(収率 81%)

得られた2-((5,6-ジメチル-1-(2-フェノキシエチル)ベンズイミ 25 ダゾール-2-イルチオ)メチル)安息香酸メチルエステル 35 mg (0.078 mmol)を用いて、実施例1と同様の方法にて加水分解反応を行い、表題化合物31 mgを得た。(収率 94%)化合物の確認はLC-MS

を用いて分子量から同定を行った。

計算值M=432.15 実測値(M+H)'=433.2

### [実施例16]

実施例15と同様の方法により、種々のフェノール誘導体を用いて、 5 前記表50に示す化合物を得た。

化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

### [実施例17]

# 化合物No. 825の製造

実施例2で得られた化合物No.68のエステル体 33 mg(0.075 mmo1) のジクロロメタン溶液に氷冷下にて50~60% m-クロロ過安息香酸 26 mg(0.083 mmo1)を添加した。得られた溶液を氷冷下にて2時間攪拌した後、飽和炭酸水素ナトリウム溶液に注ぎクロロホルムで抽出した。クロロホルム相を水洗後、濃縮し残さを薄層クロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 1:1)により精製し2-(((5,6-ジメチル -1-(1-ナフチルメチル)ベンズイミダゾール-2-イル)スルフィニル)メチル)安息香酸メチルエステルを7.1 mg(収率 21%)得た。

これを実施例1と同様に加水分解して、標題化合物を5.2 mg得た。 (収率 76%)

化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

0 計算値M=440.12 実測値(M+H)\*=441.3

### [実施例18]

# 化合物No.869の製造

実施例2で得られた化合物No.37のエステル体 39 mg(0.094 mmo1) のジクロロメタン(5 ml)溶液に氷冷下にて50~60%m-クロロ過安息 5 香酸 64 mg(0.374 mmo1)を添加した。得られた溶液を室温にて4時間攪拌した後、飽和炭酸水素ナトリウム溶液に注ぎクロロホルムで抽出した。クロロホルム相を水洗後、濃縮し残さをフラッシュカラ

ムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 5:1)で精製し2-(((1-((2,5-ジメチルフェニル)メチル)ベンズイミダゾール-2-イル)スルホニル)メチル)安息香酸メチルエステルを37 mg得た。 (収率87%)

5 2-(((1-((2,5-ジメチルフェニル)メチル)ベンズイミダゾール-2-イル)スルホニル)メチル)安息香酸メチルエステル 64 mg(0.14 mmol)を実施例1と同様に加水分解して、標題化合物を53 mg得た。 (収率 87%)

化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

10 計算値 M=434.13 実測値 (M+H) +=435.2

### [実施例19]

実施例18と同様の方法により、実施例2で得られた化合物のエステル体を用い、前記表51の化合物を合成した。化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

### 15 [実施例20]

### 化合物 No. 952の 製造

- 5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-チオール 713 mg(4 mmol)の ジメチルホルムアミド(10 ml)溶液にトリエチルアミン 836 μ1(6 mmol)及び2-プロモメチルベンゾニトリル 1176 mg(6 mmol)を加え
- 20 た。80℃で一晩攪拌した後、水を加え酢酸エチルで抽出した。酢酸エチル相を無水硫酸ナトリウムで乾燥した後、濃縮し残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 3:2)で精製し、2-((5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)ベンゼンカルボニトリルを1159 mg得た。(収率 99%)
- 25 あらかじめ乾燥した反応容器に水素化ナトリウム 178 mg(4.90 mmol)、テトラヒドロフラン(30 ml)を加えた。2-((5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)ベンゼンカルボニトリル

719 mg(2.45 mmol) 及び2,5-ジクロロベンジルクロリド 543 μ
1(4.90 mmol)を加え、60℃で40分間攪拌した。水を加え酢酸エチルで抽出した。酢酸エチル相を無水硫酸ナトリウムで乾燥した後、濃縮し残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル = 3:1)で精製し、2-((1-((2,5-ジメチルフェニル) メチル)-5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)ベンゼンカルボニトリル 370 mgを得た。(収率 37%)

2-((1-((2,5-ジメチルフェニル) メチル)-5,6-ジメチルベンズイミダゾール-2-イルチオ)メチル)ベンゼンカルボニトリル 165 mg
10 (0.401 mmol)をトルエン(3 ml)に溶解し、Me<sub>3</sub>SnN<sub>3</sub> 124 mg (0.602 mmol)を加え、窒素雰囲気下、一晩還流した。反応終了後、溶媒留去しシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ジクロロメタン:メタノール = 19:1)により精製し、表題化合物を75mg得た。(収率41%)

15 化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。 計算値 M=454.19 実測値 (M+H)\*=455.2

### [実施例21]

実施例20と同様の方法により、前記表52に示す化合物を得た。 化合物の確認はLC-MSを用いて分子量から同定を行った。

### 20 [実施例22]

### 組換えヒトマストセルキマーゼの調製

組換えプロ型ヒトマストセルキマーゼは、浦田らの報告(ジャーナル・オブ・バイオロジカル・ケミストリー第266巻、17173頁 (1991年)に従って調製した。すなわちヒトマストセルキマーゼを コードするcDNAを含有する組換えバキュロウイルスを感染させた昆虫細胞(Tn5)の培養液上清から、ヘパリンセファロース(ファルマシア)により精製した。さらに村上らの報告(ジャーナル・オブ・

バイオロジカル・ケミストリー第270巻、2218頁 (1995年)) に従い活性化した後、ヘパリンセファロースで精製し、活性型ヒトマストセルキマーゼを得た。

[実施例23]

5 組換えヒトマストセルキマーゼの酵素活性阻害測定

実施例22で得られた1~5 ngの活性型ヒトマストセルキマーゼを含む50 μL のバッファーA (0.5~3.0 M NaCl、50 mMトリス塩酸pH 8.0) に本発明の化合物を含むDMSO溶液2 μL を加えた後、基質として0.5 mM スクシニルーアラニルーヒスチジループロリルーフ10 エニルアラニルパラニトロアニリド (バッケム社) を含む50 μL のバッファーA を加え室温にて5分間反応させた。405 nmの吸光度の経時変化を測定し、阻害活性を調べた。

その結果、化合物No.63、64、65、143、174、256、264、272、311、354、319、349、358、395、401、402、にIC50 = 1 nM以上10 nM未満 、化合物No.37、50、84、115、117、119、121、123、130、147、168、256、320、321、324、352、355、364、380、392、398、444、455、459、460、506、863、866、869にIC50 = 10 nM以上100 nM以下の阻害活性を認めた。

以上のように本発明のベンズイミダゾール誘導体は強いキマーゼ<br/>
20 阻害活性を示す。従って、本発明のベンズイミダゾール誘導体はヒトキマーゼが関与する各種疾患の予防および/または治療に用いられる臨床応用可能なヒトキマーゼ活性阻害物質であることが明らかとなった。

[実施例24]

### 25 錠剤の製造

1錠が次の組成からなる錠剤を製造した。

化合物 (No. 37)

50 m g

92

乳糖
 こやがいもデンプン
 ポリビニルピロリドン
 ステアリン酸マグネシウム
 5mg

本発明化合物(実施例2の化合物)、乳糖およびジャガイモデンプンを混合し、これをポリビニルピロリドンの20%エタノール溶液で均等に湿潤させ、20nmメッシュのふるいを通し、45℃で乾燥させ、かつ再び15nmメッシュを通した。こうして得られた顆粒をステアリン酸マグネシウムと混和して錠剤に圧縮した。

10

### 産業上の利用可能性

本発明のチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩は強いヒトキマーゼ阻害活性を示す。したがって、該チオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩は、ヒトキローゼ阻害剤として、炎症疾患、アレルギー疾患、呼吸器疾患、循環器疾患または骨・軟骨代謝疾患に対して臨床応用可能な予防剤および/または治療剤として使用することが可能である。

93

# 請求の範囲

### 1. 下記式(1)

(1)

5

[式(1)中、 $R^1$ 及び $R^2$ は、同時にまたはそれぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、トリハロメチル基、シアノ基、水酸基、炭素数 $1 \sim 4$ のアルキル基もしくは炭素数 $1 \sim 4$ のアルコキシ基、または $R^1$ 及び $R^2$ は一緒になって-0- $CH_2$ -0-、-0- $CH_2$ - $CH_2$ -0-もしくは $-CH_2$ - $CH_2$ -0-もしくは複数の炭素数 $1 \sim 4$ のアルキル基で置換されていてもよい。)を表す。:

Aは、単結合、置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖または分岐状のアルキレン基、置換もしくは無置換の炭素数6~11のアリーレン基、または置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つもしくは複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリーレン基(またここにおける置換基としては、ハロゲン原子、OH、NO2、CN、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキル基、直鎖状もしくは分岐状の炭素数1~6のアルコキシ基(この場合置換基としては、お互い隣接する部位でアセタール結合していてもよい。)、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキルチオ基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキルスルホニル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシルを表または分岐状の炭素数1~6のアシルを表または一つ以上のハロゲン原子で置換されてもよいフェノキシ基を表す。これらは環またはアルキレ

ン基の任意の場所で一つもしくは複数個それぞれ独立に置換されて いてもよい。 ) を表す。;

Eは、COOR<sup>3</sup>、SO<sub>3</sub>R<sup>3</sup>、CONHR<sup>3</sup>、SO<sub>2</sub>NHR<sup>3</sup>、テトラゾール基、5-オキソ
-1,2,4-オキサジアゾール基または5-オキソ-1,2,4-チアジアゾール
 基(R<sup>3</sup>は、水素原子または直鎖もしくは分岐上の炭素数 1 ~ 6 のア
ルキル基を表す。)を表す。;

Gは、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 6 の直鎖または分岐状のアルキレン基を表し、途中に 0、 S、 SO2、 NR³を、一つもしくは複数個含んでいてもよい。 {ここで R³は、上記定義に同じである。またここにおける置換基としてはハロゲン原子、 OH、 NO2、 CN、 直鎖もしくは分岐状の炭素数 1 ~ 6 のアルキル基、直鎖状もしくは分岐状の炭素数 1 ~ 6 のアルキル基、直鎖状もしてお互い隣接する部位でアセタール結合していてもよい。)、トリハロメチル基、トリハロメトキシ基、フェニル基またはオキソ基を表す。 } ;

15 mは、0~2の整数を表す。;

Jは、mが0かつAが置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖または分岐状のアルキレン基の場合、置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖、環状または分岐状のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数7~9のアリール基、置換の炭素数10~11のアリール基、20 置換もしくは無置換の酸素あるいは窒素および硫黄原子を一つまたは複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリール基を表す。

Jは、mが0かつAが置換もしくは無置換の炭素数6~11のアリーレン基、置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つ25 または複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリーレン基の場合、置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖、環状または分岐状のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数6~11

のアリール基あるいは置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい炭素数 4 ~ 1 0 のヘテロアリール基を表す。

Jは、mが0かつAが単結合、またはmが1もしくは2の場合、置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖、環状または分岐状のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数6~11のアリール基あるいは置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つまたは複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリール基を表す。 {またここにおける置換基としては、ハロゲン原子、0H、

- 10 NO2、CN、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキル基、直鎖状もしくは分岐状の炭素数1~6のアルコキシ基(この場合置換基としてお互い隣接する部位でアセタール結合していてもよい。)、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキルチオ基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアルキルスルホニル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシル基、直鎖もしくは分岐状の炭素数1~6のアシルアミノ基、置換もしくは無置換のアニリド基、トリハロメチル基、トリハロメトキシ基、フェニル基、オキソ基、COOR<sup>3</sup>基、または一つ以上のハロゲン原子で置換されてもよいフェノキシ基を
- 20 は複数個それぞれ独立に置換されていてもよい。 );

Xは、CHまたは窒素原子を表す。]

で表されるチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。

表す。これらは、環もしくはアルキル基の任意の場所で一つもしく

- 2. 上記式(1)において、
- 25 Aが、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 6 の直鎖または分岐状のアルキレン基、置換もしくは無置換の炭素数 6 ~ 1 1 のアリーレン基、または置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つある

いは複数個環上に含んでいてもよい炭素数 4 ~ 1 0 のヘテロアリーレン基

である請求の範囲第1項記載のチオベンズイミダゾール誘導体また はその医学上許容される塩。

5 3. 上記式(1)において、

Aが、置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい炭素数 4 ~ 1 0 のヘテロアリーレン基

である請求の範囲第1項または第2項記載のチオベンズイミダゾー 10 ル誘導体またはその医学上許容される塩。

4. 上記式(1)において、

mが1である請求の範囲第1項、第2項および第3項いずれか1項 記載のチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される 塩。

15 5. 上記式 (1) において、

mが2である請求の範囲第1項、第2項および第3項いずれか1項 記載のチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される 塩。

- 6. 上記式(1)において、
- 20 mが0、Aが置換もしくは無置換の炭素数1~6の直鎖または分岐上のアルキレン基、かつJが置換もしくは無置換の炭素数7~9のアリール基、置換された炭素数10~11のアリール基、または置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリール基
- 25 である請求の範囲第1項、第2項および第3項いずれか1項記載の チオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。
  - 7. 上記式(1)において、

mが0、Aが置換もしくは無置換の炭素数6~11のアリーレン基、または置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリーレン基、かつJが置換もしくは無置換の炭素数6~11のアリール5 基または置換もしくは無置換の酸素、窒素および硫黄原子を一つあるいは複数個環上に含んでいてもよい炭素数4~10のヘテロアリール基

である請求の範囲第1項、第2項および第3項いずれか1項記載の チオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。

- 10 8. 上記式 (1) において、
  Gが、-CH<sub>2</sub>-、-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-、-CH<sub>2</sub>CO-、-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>O-、-CH<sub>2</sub>CONH-、-CO-、
  -SO<sub>2</sub>-、-CH<sub>2</sub>SO<sub>2</sub>-、-CH<sub>2</sub>S-または-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>S-である請求の範囲第1項~
  - 第7項いずれか1項記載のチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。
- 15 9. 上記式 (1) において、

R¹及びR²が、同時に水素原子、ハロゲン原子、炭素数 1 ~ 4 のアルキル基もしくは炭素数 1 ~ 4 のアルコキシ基であるか、またはR¹及びR²がそれぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、炭素数 1 ~ 4 のアルキル基、炭素数 1 ~ 4 のアルキル基、炭素数 1 ~ 4 のアルコキシ基、トリハロメチル基、

- 20 シアノ基もしくは水酸基である請求の範囲第1項~第8項いずれか 1項記載のチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。
  - 10. 上記式(1)において、

EがCOOHまたはテトラゾール基である請求の範囲第1項~第9項い 25 ずれか1項記載のチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上 許容される塩。

11. 上記式(1)において、

XがCHである請求の範囲第1項~第10項いずれか1項記載のチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩。

- 12. ヒトキマーゼ阻害作用を有することを特徴とする請求の範囲 第1項~第11項いずれか1項記載のチオベンズイミダゾール誘導 5 体またはその医学上許容される塩。
  - 13. 少なくとも請求の範囲第1項~第12項いずれか1項記載のチオベンズイミダゾール誘導体またはその医学上許容される塩と製薬学的に許容される担体とからなる医薬組成物。
- 14. 該医薬組成物が、疾患の予防剤および/または治療剤である 10 請求の範囲第13項記載の医薬組成物。
  - 15. 該疾患が、炎症疾患、アレルギー疾患、呼吸器疾患、循環器疾患または骨・軟骨代謝疾患である請求の範囲第14記載の予防剤および/または治療剤。

# NTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP99/03799

A. CLAS. Int.	SIFICATION OF SUBJECT MATTER C1 <sup>6</sup> C07D235/28, A61K31/415		
According t	to International Patent Classification (IPC) or to both n	national classification and IPC	
	S SEARCHED		
Int.	documentation searched (classification system followed C1 C07D235/28, A61K31/415		
Documenta	tion searched other than minimum documentation to the	ne extent that such documents are include	d in the fields searched
Electronic d CAPI	lata base consulted during the international search (na LUS (STN), REGISTRY (STN)	me of data base and, where practicable, s	earch terms used)
C. DOCU	MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where ag		Relevant to claim No.
Х	US, 5124336, A (Laboratoire 23 June, 1992 (23. 06. 92)	s UPSA),	1, 2, 8-15
A	& FR, 2658511, A		3-7
x	J. Med. Chem., <u>36(9)</u> , 1175-87 (1993)		1, 2, 8-15
х	JP, 5-155858, A (Laboratories UPSA), 22 June, 1993 (22. 06. 93) & US, 5021443, A & FR, 2658511, A & CA, 2035710, A & EP, 442820, A		1, 2, 8-15
х	Chem. Abs. <u>85</u> , 172661 (1976)		1, 2, 8-12
	er documents are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.	
"A" docume consider "E" earlier consider "L" docume cited to special docume means "P" docume the prio	categories of cited documents: ent defining the general state of the art which is not red to be of particular relevance document but published on or after the international filling date ent which may throw doubts on priority claim(s) or which is establish the publication date of another citation or other reason (as specified) ent referring to an oral disclosure, use, exhibition or other ent published prior to the international filling date but later than writy date claimed  actual completion of the international search tober, 1999 (07. 10. 99)	"T" later document published after the intern date and not in conflict with the applicathe principle or theory underlying the in document of particular relevance; the clossidered novel or cannot be considered when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the clossidered to involve an inventive step combined with one or more other such considered to a person skilled in the "&" document member of the same patent fall Date of mailing of the international sear 19 October, 1999 (	tion but cited to understand vention a simed invention cannot be d to involve an inventive step aimed invention cannot be when the document is documents, such combination art mily
Name and m Japa	nailing address of the ISA/ nese Patent Office	Authorized officer	
Forsimile N	•	Tolombono No.	

Form PCT/ISA/210 (second sheet) Helini 1992 ded by Sughrue Mion, PLLC - http://www.sughrue.com

	属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Cl° C07D235/28、A61K31/	<b>/41</b> 5			
B. 調査を行					
調査を行った	最小限資料(国際特許分類(IPC)) Cl° C07D235/28、A61K31/				
111.0.	C1 C07D235/28, A61K31/	7415			
	·				
最小限資料以外	外の資料で調査を行った分野に含まれるもの				
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)					
CAPLUS (STN), REGISTRY (STN)					
C. 関連する	ると認められる文献				
引用文献の			関連する		
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連する。	ときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号		
X	US, 5124336, A (Laboratoires UPSA) 23.6月.1992(23.06.92)		1, 2, 8- 15		
A	& FR, 2658511, A		3 – 7		
X	J. Med. Chem., <u>36</u> (9 (1993)	), 1175-87	1, 2, 8- 15		
X	JP, 5−155858, A (ラボラトワール ウー ペー :	エス アー)	1, 2, 8-		
	22.6月.1993(22.6	06.93)	1 0		
	& US, 5021443, A	& FR, 2658511, A			
▼ C欄の続きにも文献が列挙されている。 □ パテントファミリーに関する別紙を参照。					
* 引用文献のカテゴリー の日の後に公表された文献 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって					
もの					
以後に公表されたもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明					
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以					
文献 (理由を付す) 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに					
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 よって進歩性がないと考えられるもの					
国際調査を完了した日 07.10.99 国際調査報告の発送日 19.10.99					

特許庁審査官(権限のある職員)

吉住 和之

4 P

属

電話番号 03-3581-1101 内線 3491

9840

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

	国際調査報告 国際山棚番号 アピーノリアミ	37 00 1 00	
C(続き).	関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号	
	& CA, 2035710, A & EP, 442820, A		
x	Chem. Abs. <u>85</u> , 172661 (1976)	1, 2, 8-	
		1	
	·		
	·		

### WO0003997

# Title: THIOBENZIMIDAZOLE DERIVATIVES

### Abstract:

Thiobenzimidazole derivatives represented by general formula (1) or pharmaceutically acceptable salts thereof which have a potent human chymase inhibitory activity and, therefore, are usable as clinically applicable preventives and/or remedies for various diseases in which human chymase participates.